

# (15) 広義のひきこもり群、ひきこもり親和群、一般群の比較

## ▶▶1 鳥取県青少年育成意識調査での区分

内閣府の「若者の意識に関する調査(ひきこもりに関する実態調査)(平成22年7月)」を参考に、広義のひきこもり群・ひきこもり親和群と一般群を区分した。(なお、広義のひきこもり群、ひきこもり親和群、一般群別の集計は、有効回答者数(n)から「無回答」を除いて行った。)

**広義のひきこもり群** = 「外出頻度」と「ひきこもり開始後の期間」の両方ついて、下の【該当が必要な項目】を選んだ者から、「ひきこもりのきっかけ」、「自宅でよくすること」の設問で【上記の該当者から除く項目】を選んだ者を除いた者

### 【該当が必要な項目】

外出頻度
普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事するときだけ外出する
普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける
自室からは出るが、家からは出ない
自室からほとんど出ない

ひきこもり開始後の期間
6ヶ月～1年未満
1年～3年未満
3年～5年未満
5年～7年未満
7年以上

### 【上記の該当者から除く項目】

ひきこもりのきっかけ
病気
妊娠した
その他(自宅で仕事、育児)

自宅でよくすること
家事・育児をする

**ひきこもり親和群** = 下の表の項目のに4つとも「はい」と答えた者、及び3つは「はい」で1つのみ「どちらかといえばはい」と答えた者の合計から「広義のひきこもり群」を除いた者

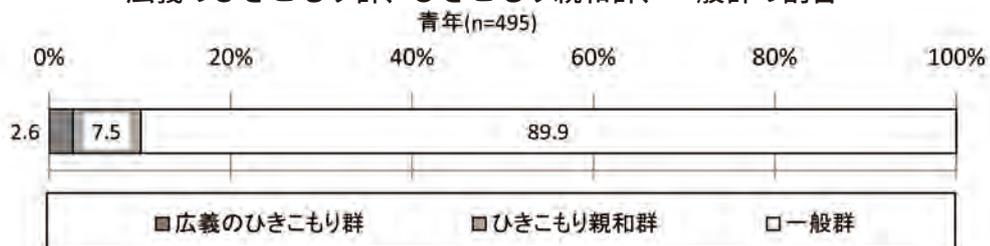
家や自室に閉じこもっていて外に出ない人たちの気持ちがわかる
自分も、家や自室に閉じこもりたいと思うことがある
嫌な出来事があると、外に出たくなくなる
理由があるなら家や自室に閉じこもるのも仕方がないと思う

**一般群** = 上記以外の者

(参考) 内閣府調査の定義

- 広義のひきこもり群の定義  
「ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事するときだけ外出する」「ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」「自室からは出るが、家からは出ない」「自室からほとんど出ない」であって、現在の状態となって6ヶ月以上の者から、「現在の状態のきっかけ」で「病気」のうち統合失調症又は身体的な病気、または「その他」のうち自宅で仕事をしていると回答した者と、「ふだん自宅にいるときによくしていること」で「家事・育児をする」と回答した者を除く。
- ひきこもり親和群の定義  
「家や自室に閉じこもっていて外に出ない人たちの気持ちがわかる」「自分も、家や自室に閉じこもりたいと思うことがある」「嫌な出来事があると、外に出たくなくなる」「理由があるなら家や自室に閉じこもるのも仕方がないと思う」の4項目が、すべて「はい」又は1項目のみ「どちらかといえばはい」と答えた者から「広義のひきこもり群」を除いた者

図 193 広義のひきこもり群、ひきこもり親和群、一般群の割合

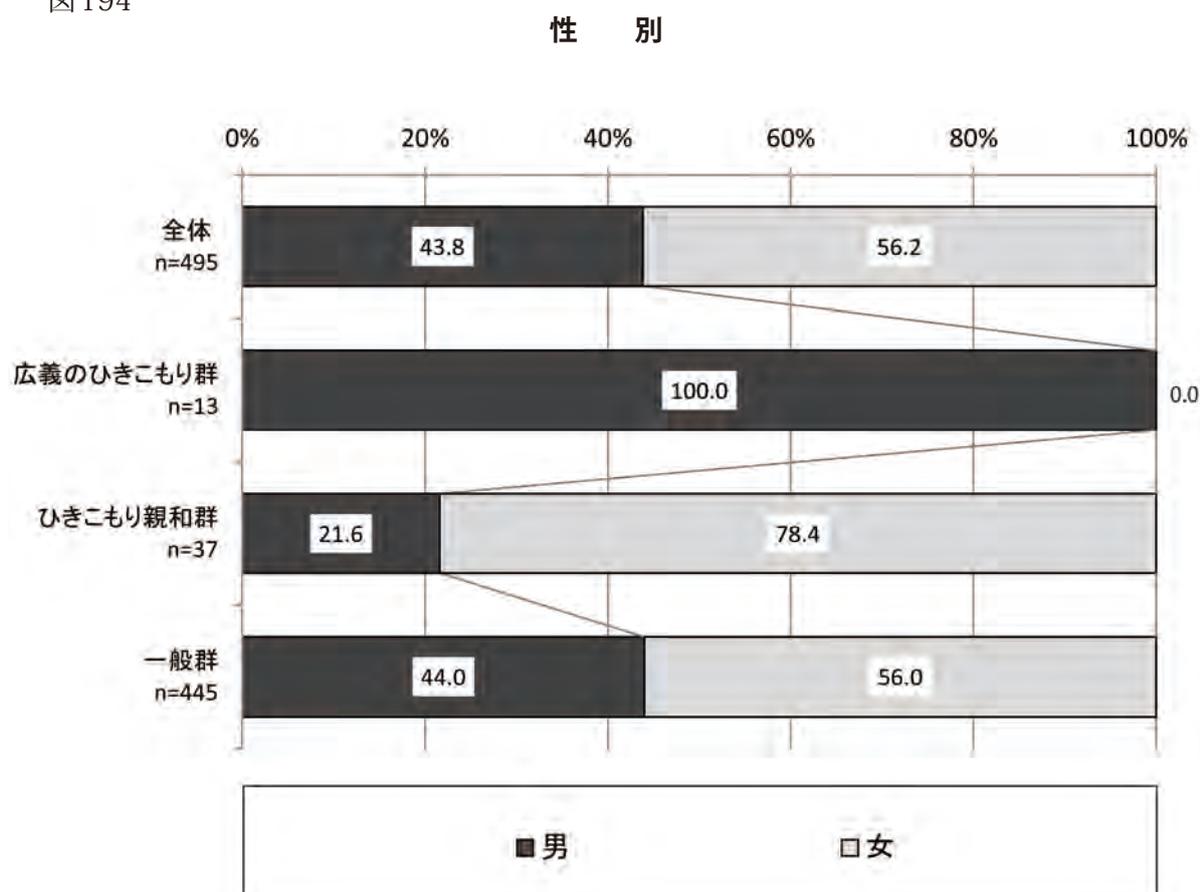


## ▶▶ 2 性別

問  
あなたの性別に○をつけてください。

広義のひきこもり群は全員が男性、ひきこもり親和群は女性が78.4%である。  
平成22年に内閣府が行った「若者の意識に関する調査（ひきこもりに関する実態調査）」（以下、全国調査という）でも広義のひきこもり群は男性が多く、ひきこもり親和群は女性が多い傾向であった。

図194

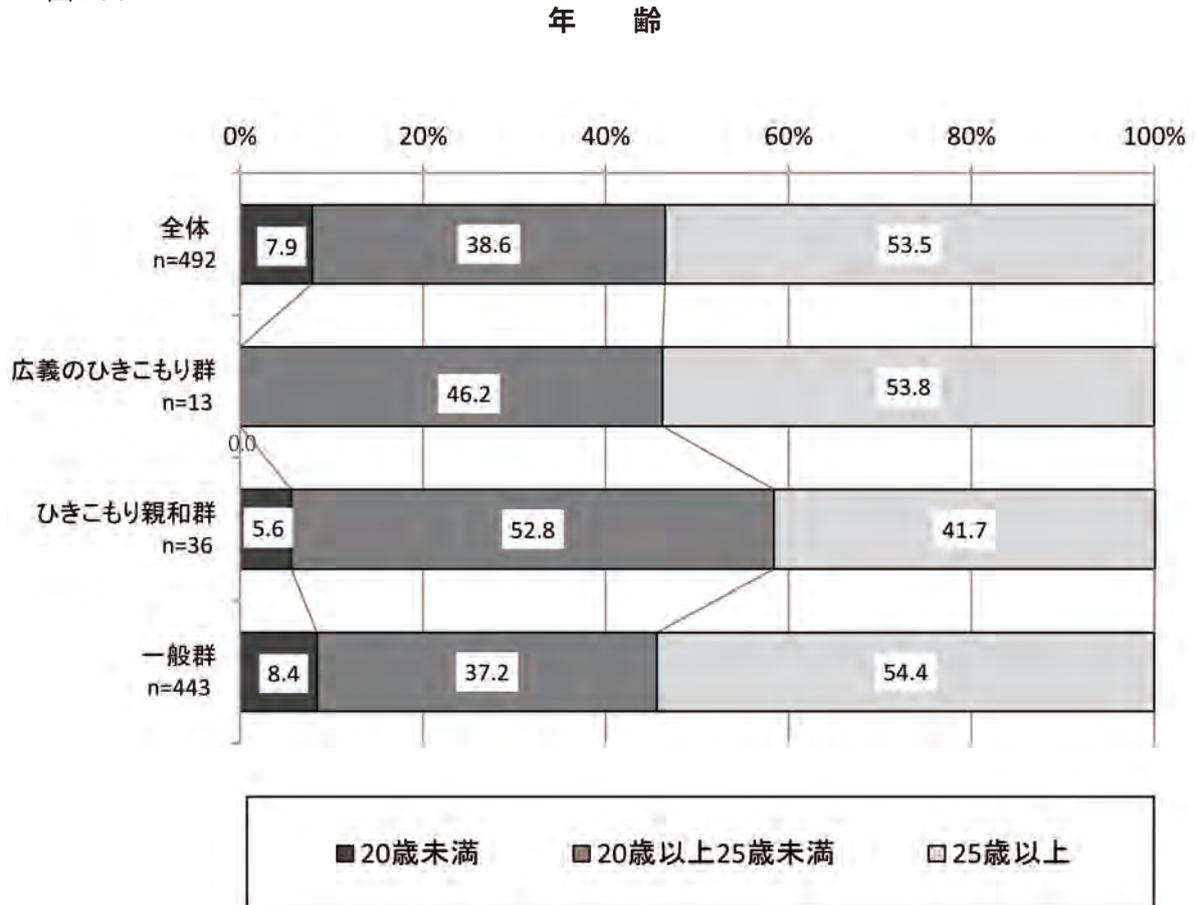


▶▶▶ 3 年齢

問  
あなたの年齢に○をつけてください。

広義のひきこもり群は25歳以上が5割を超えている。ひきこもり親和群は20歳以上25歳未満が5割を超えている。

図195



▶▶ 4 職業

問  
あなたの現在の職業について、あてはまる番号に1つ○をつけてください。

一般群で一番多いのは「勤めている（正社員）」、ひきこもり親和群で一番多いのは「勤めている（パート・アルバイト（学生アルバイトは除く）」、広義のひきこもり群で一番多いのは「無職」である。

表7

職 業

(単位：%)

区 分	学 生	浪人として予備校などに通っている	勤めている（正社員）	勤めている（契約社員）	勤めている（派遣社員）	勤めている（パート・アルバイト）	自分で店、会社を営んでいる
全 体 n=492	16.5	1.2	42.5	8.3	1.4	12.8	0.6
広義のひきこもり群 n=12	8.3	16.7	8.3	0.0	0.0	0.0	8.3
ひきこもり親和群 n=37	16.2	0.0	18.9	13.5	2.7	21.6	0.0
一般群 n=443	16.7	0.9	45.4	8.1	1.4	12.4	0.5

区 分	自由業（個人で専門知識や技術を生かした職業）をしている	専業主婦・主夫	家事手伝いをしている	その他の仕事	派遣会社などに登録しているが、現在は働いていない	無 職
全 体 n=492	1.4	4.9	1.2	3.0	0.8	5.3
広義のひきこもり群 n=12	0.0	0.0	8.3	8.3	8.3	33.3
ひきこもり親和群 n=37	0.0	2.7	2.7	8.1	0.0	13.5
一般群 n=443	1.6	5.2	0.9	2.5	0.7	3.8

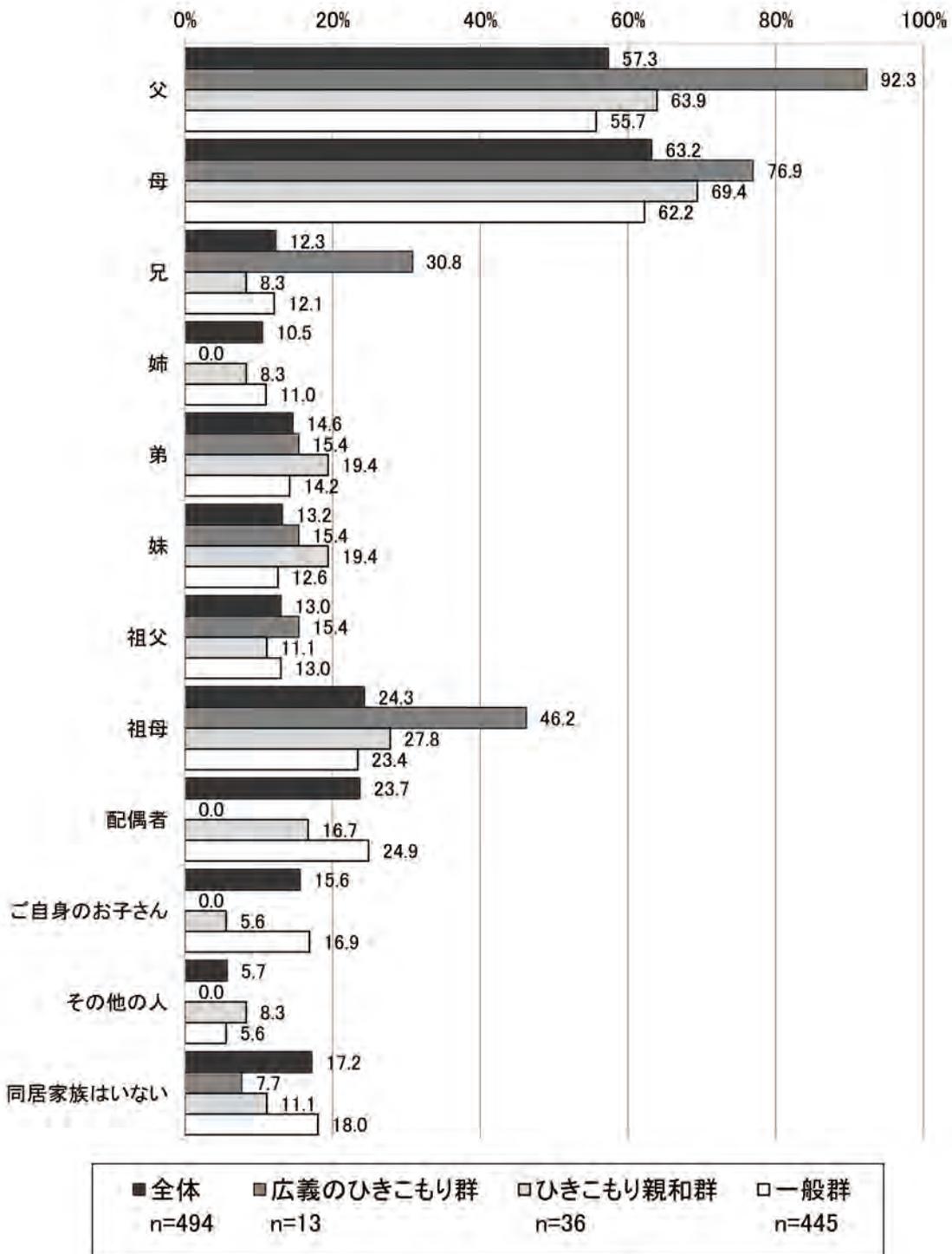
▶▶▶ 5 同居家族

問  
現在、あなたと同居しているご家族にすべて○をつけてください。(○はいくつでも)

一般群で一番多かったのは「母」であり、「父」、「配偶者」と続いている。  
 広義のひきこもり群は「父」が一番多く、「母」、「祖母」と続き「配偶者」と同居して  
 いる方はなかった。ひきこもり親和群では「母」、「父」、「祖母」の順である。  
 全国調査の、ひきこもり群、ひきこもり親和群と同様の傾向であった。

図196

同居家族



▶▶▶ 6 ひきこもりのきっかけ

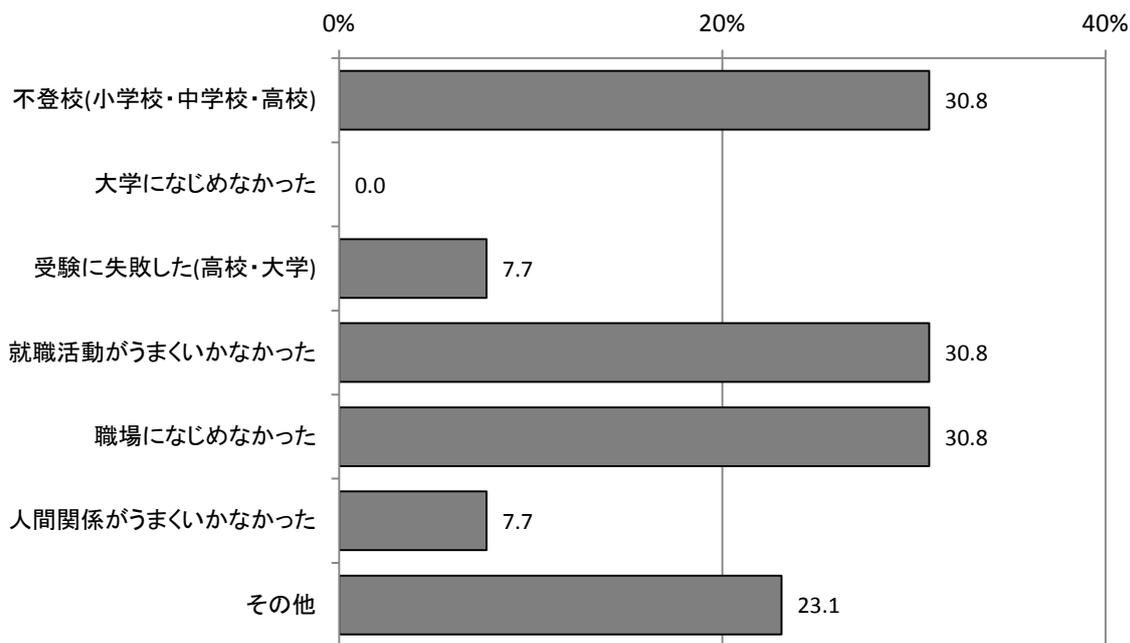
問  
 質問9（普段の外出頻度）で、5～8に○をつけた方のみ、回答してください。現在の状態になったきっかけは何ですか。次の中からあてはまる番号をいくつでも選んで○をつけてください。  
 <参考>  
 問9  
 (5)「普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する」  
 (6)「普段は家にいるが近所のコンビニなどには出かける」  
 (7)「自室からは出るが、家からは出ない」  
 (8)「自室からほとんどでない」

「広義のひきこもり群」のひきこもりのきっかけは、「不登校」「就職活動がうまくいかなかった」「職場になじめなかった」がともに30.8%で最も多かった。

全国調査では、「その他」を除いて多い順から「職場になじめなかった」「病気」がともに23.7%、「就職活動がうまくいかなかった」20.3%、「不登校」「人間関係がうまくいかなかった」がともに11.9%であった。

図197

広義のひきこもり群 ひきこもりのきっかけ n = 13



## 7 ひきこもり状態になってからの経過年数

問  
質問9（普段の外出の頻度）で、5～8に○をつけた方のみ、回答してください。現在の状態となってどのくらい経ちますか。あてはまる番号に1つ○をつけてください。

<参考>

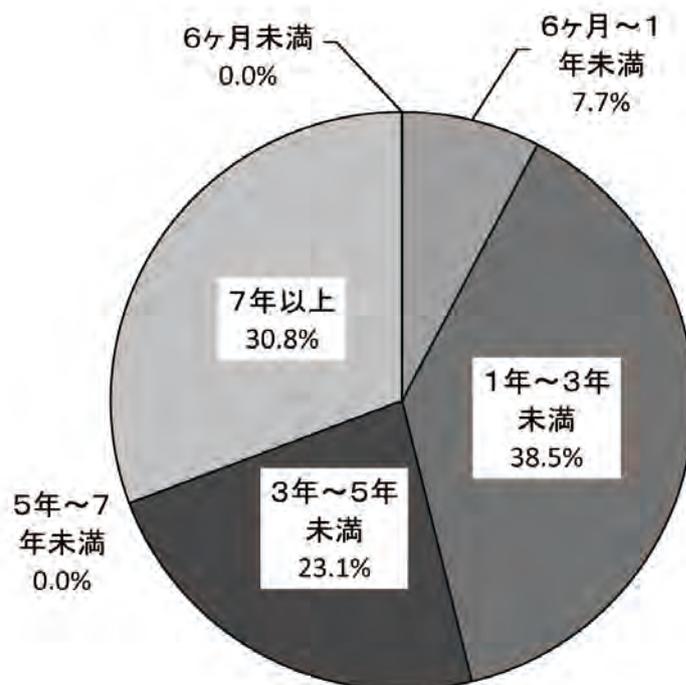
問9

- (5)「普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事するときだけ外出する」
- (6)「普段は家にいるが近所のコンビニなどには出かける」
- (7)「自室からは出るが、家からは出ない」
- (8)「自室からほとんどでない」

ひきこもり開始後の経過年数は、多いものから順に「1年～3年未満」が約4割、「7年以上」が約3割、「3年～5年未満」が約2割であった。

図198

広義のひきこもり群 ひきこもり状態になってからの経過年数 n = 13



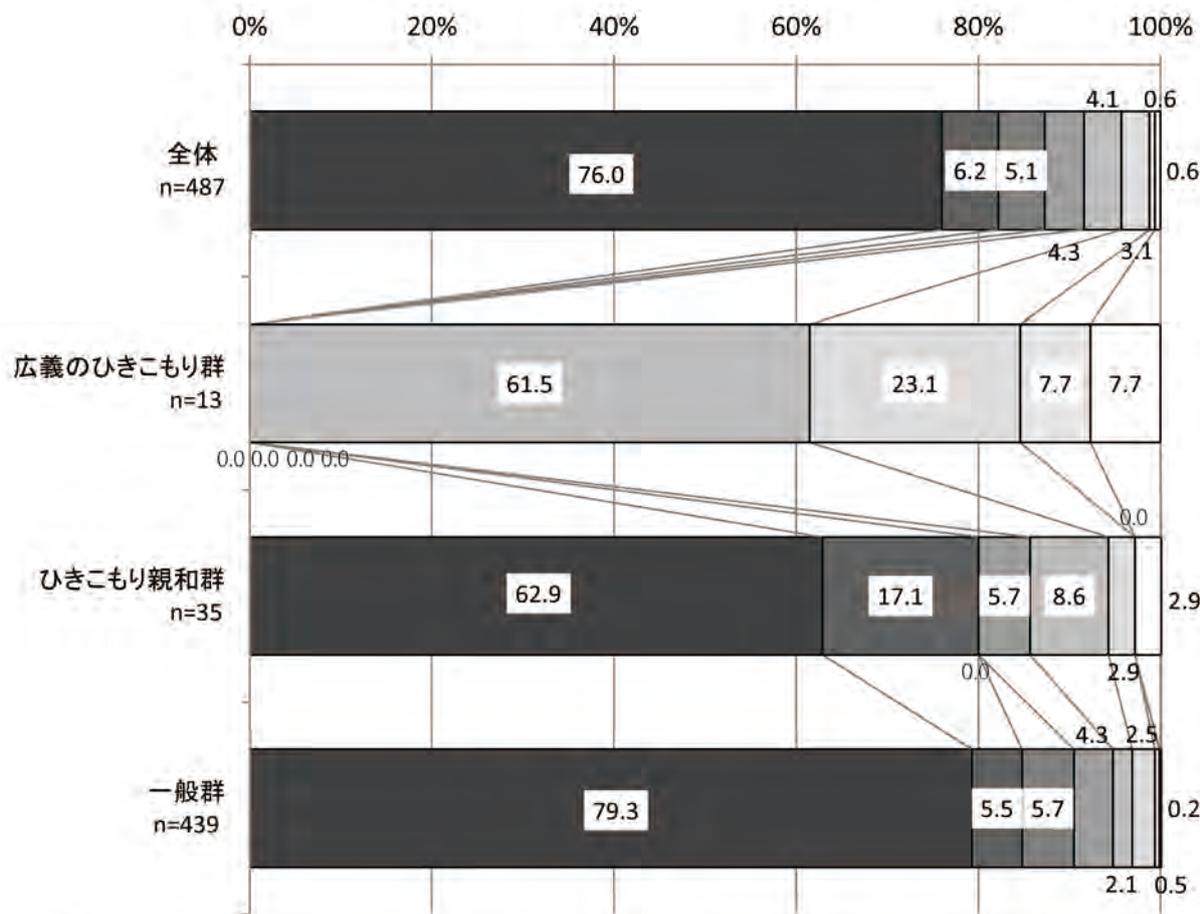
▶▶▶ 8 外出頻度

問  
あなたは、普段どのくらい外出しますか。あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

一般群とひきこもり親和群とで一番多い回答は、「仕事や学校で平日は毎日外出する」であり、一般群は約8割、ひきこもり親和群は約6割である。広義のひきこもり群で一番多い回答は「普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する」であり、約6割である。

図199

外出頻度



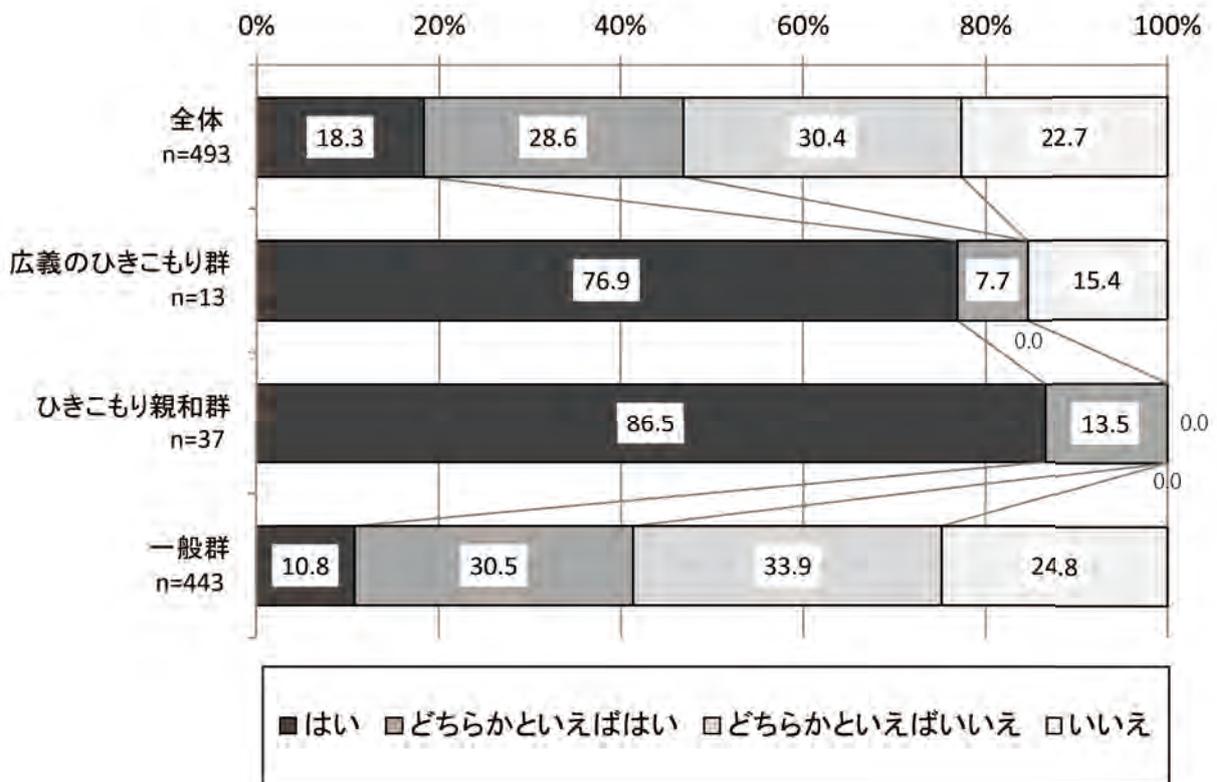
- 仕事や学校で平日は毎日外出する
- 仕事や学校で週に3~4日外出する
- 遊び等で頻繁に外出する
- 人づきあいのためにときどき外出する
- 普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する
- 普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける
- 自室からは出るが、家からは出ない
- 自室からほとんど出ない

▶▶▶ 9 ひきこもることへの意識

問  
 次の(1)～(4)について、あなた自身にあてはまる番号に1つずつ○をつけてください。(○は各項目につきひとつ)

「はい」と「どちらかといえばはい」を合わせると、一般群は約4割だが、広義のひきこもり群は8割を超え、ひきこもり親和群については10割である。

図200 (1) 家や自室に閉じこもっていて外に出ない人たちの気持ちがわかる

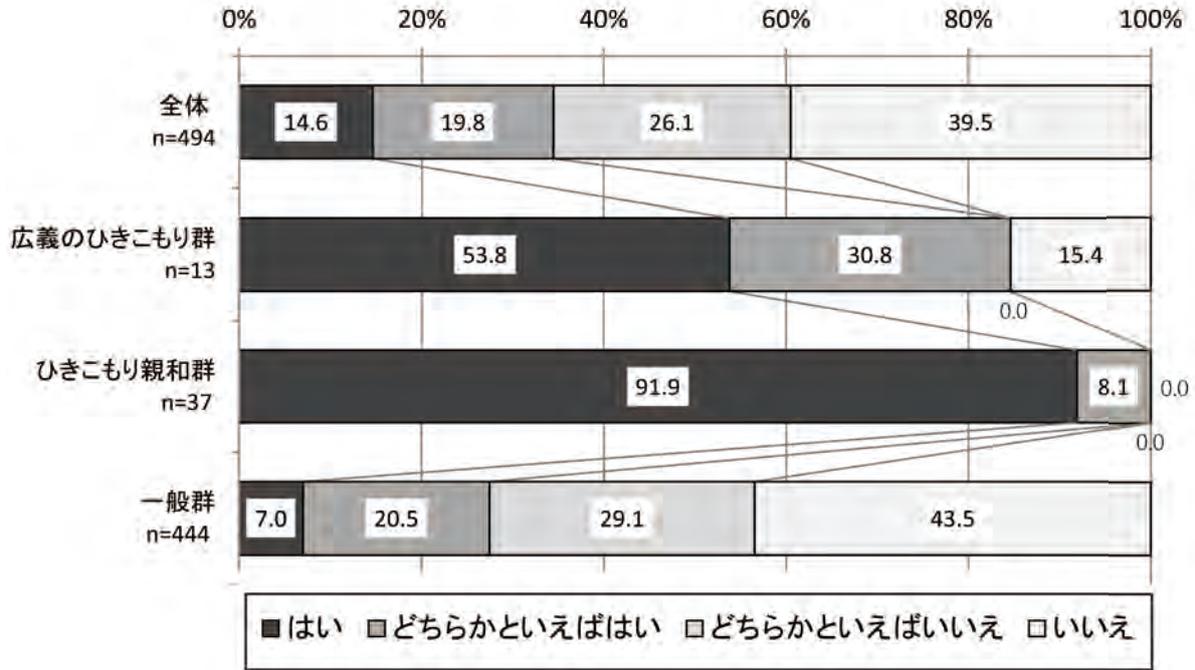


▶▶ 9 ひきこもることへの意識

「はい」と「どちらかといえばはい」を合わせると、一般群では約3割であり、広義のひきこもり群では8割を超え、ひきこもり親和群においては10割である。

図201

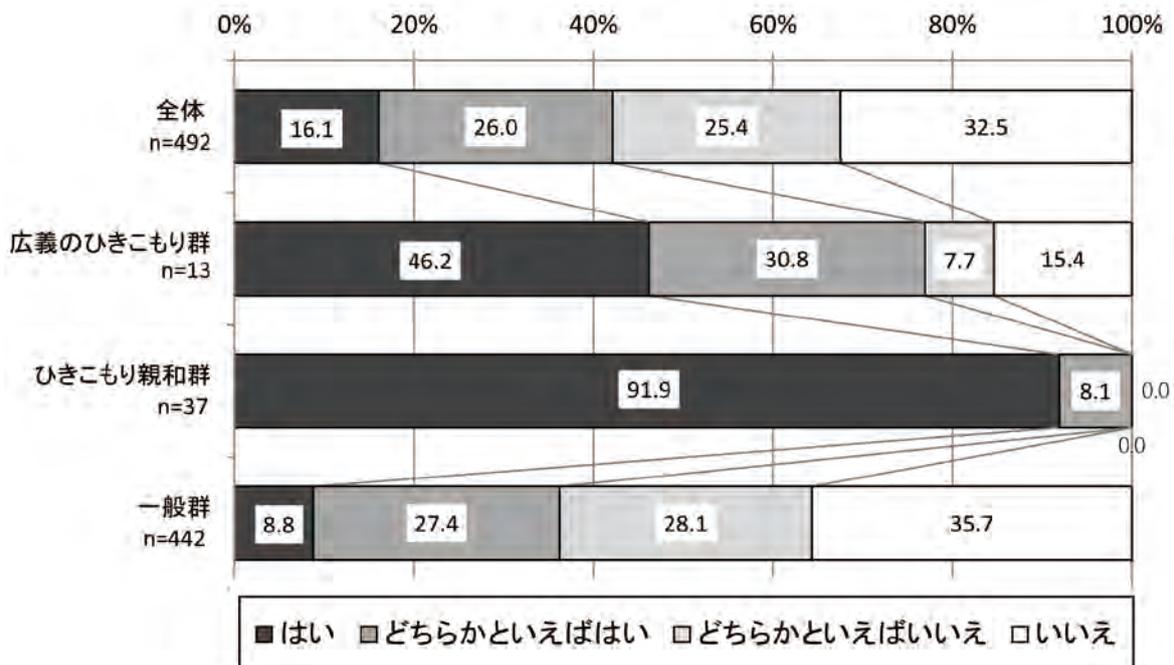
(2) 自分も、家や自室に閉じこもりたいと思うことがある



「はい」と「どちらかといえばはい」を合わせると、一般群では36.2%であるが、広義のひきこもり群では77%、ひきこもり親和群においては100%である。

図202

(3) 嫌な出来事があると、外に出たくなくなる

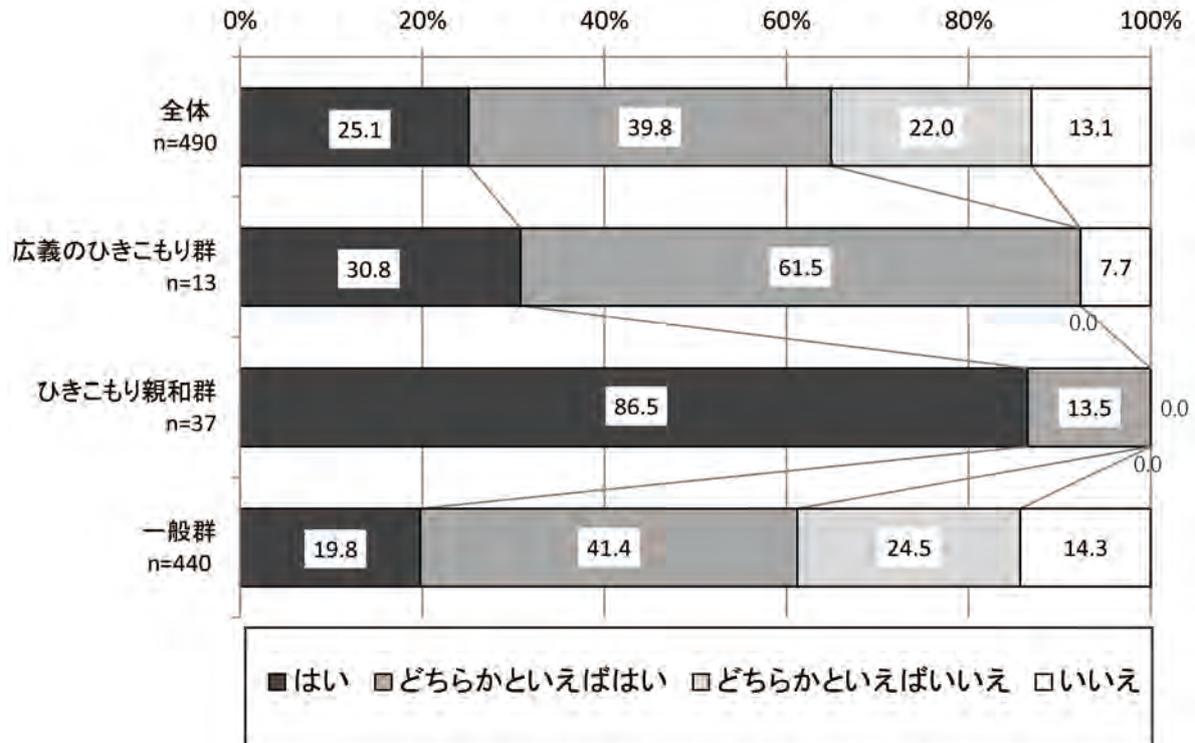


## ▶▶ 9 ひきこもることへの意識

「はい」と「どちらかといえばはい」を合わせると、一般群では約6割であり、広義のひきこもり群では9割を上回り、ひきこもり親和群においては10割である。

図203

### (4) 理由があるなら家や自室に閉じこもるのも仕方がないと思う



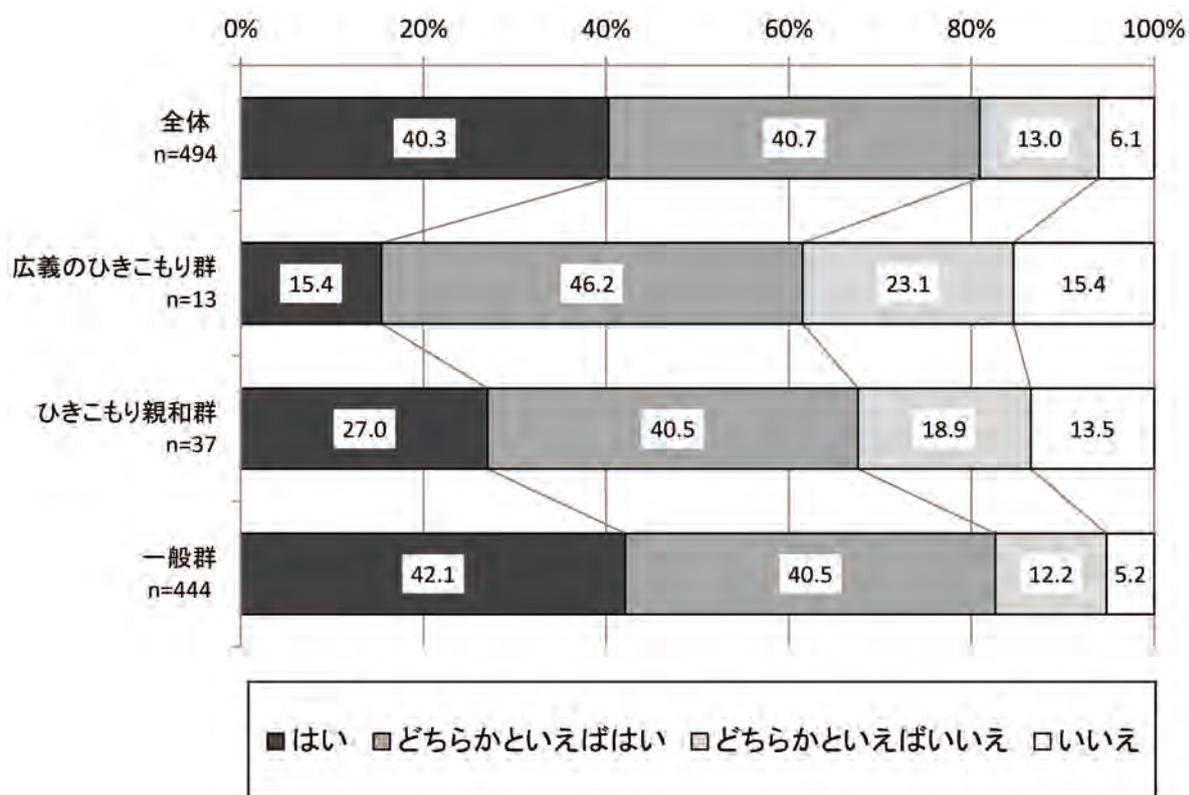
▶▶ 10 家庭生活の満足度

問  
あなた自身にあてはまる番号に1つ○をつけてください。

一般群では「はい」と「どちらかといえばはい」を合わせると、8割を上回っているが、広義のひきこもり群とひきこもり親和群は約6割である。

図204

家庭生活に満足している



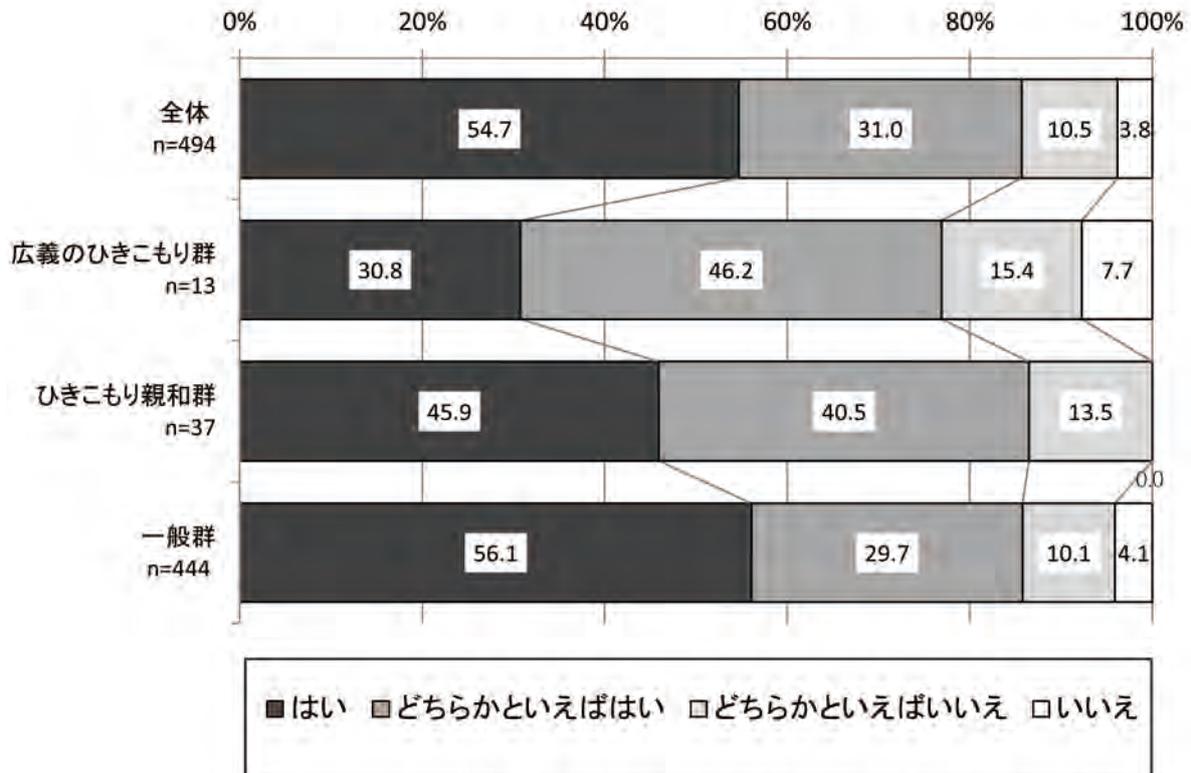
▶▶▶ 11 家族とのコミュニケーション

問  
あなた自身にあてはまる番号に1つ○をつけてください。

「はい」と回答した一般群は5割を超えているが、ひきこもり親和群は約4割、広義のひきこもり群は約3割である。「はい」と「どちらかといえばはい」を合わせると、一般群とひきこもり親和群は8割を上回るが、広義のひきこもり群は約7割である。

図205

家族とはよく話をしている



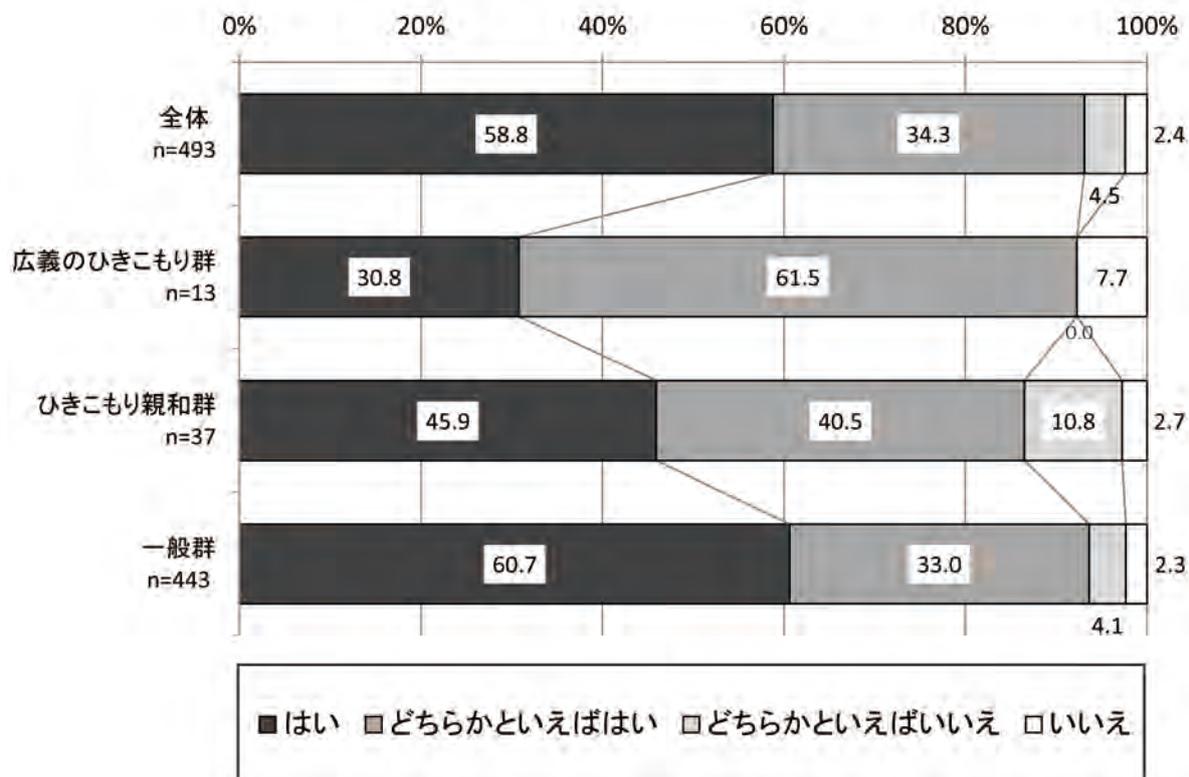
▶▶ 12 家族についての意識

問  
 次の(1)～(3)について、あなた自身にあてはまる番号に1つずつ○をつけてください。(○は各項目につきひとつ)

「はい」と回答した一般群は6割を超えているが、ひきこもり親和群は約4割、広義のひきこもり群は約3割である。「はい」と「どちらかといえばはい」を合わせると一般群と広義のひきこもり群は9割を超え、ひきこもり親和群は約8割である。

図206

(1) 私の家族は温かい

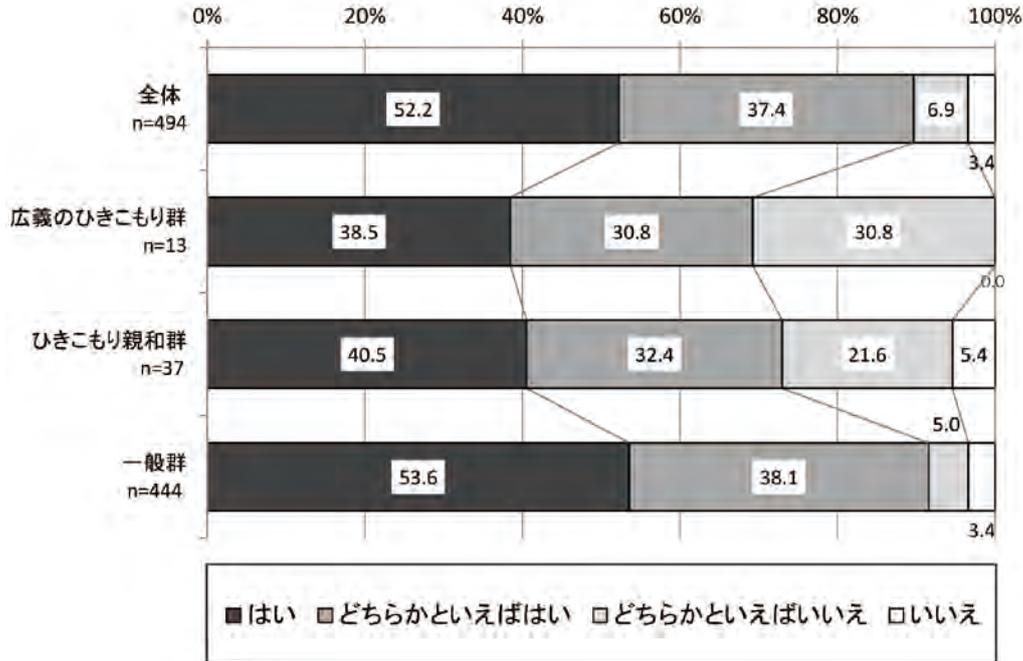


▶▶▶ 12 家族についての意識

「はい」と「どちらかといえばはい」を合わせると、一般群は9割を超えているが、ひきこもり親和群は約7割、広義のひきこもり群は約6割である。

図207

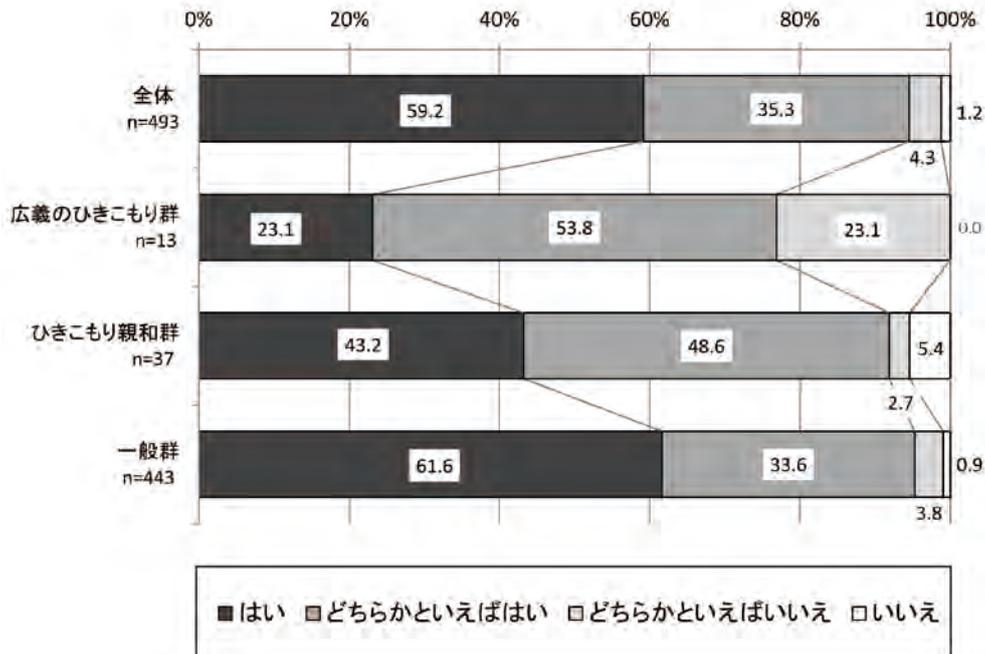
(2) 私たち家族は、仲がよいと思う



「はい」と回答した一般群は6割を超えているが、ひきこもり親和群は約4割、広義のひきこもり群は約2割である。「はい」と「どちらかといえばはい」を合わせると、一般群とひきこもり親和群は9割を超え、広義のひきこもり群は約7割である。

図208

(3) 家族から十分に愛されていると思う



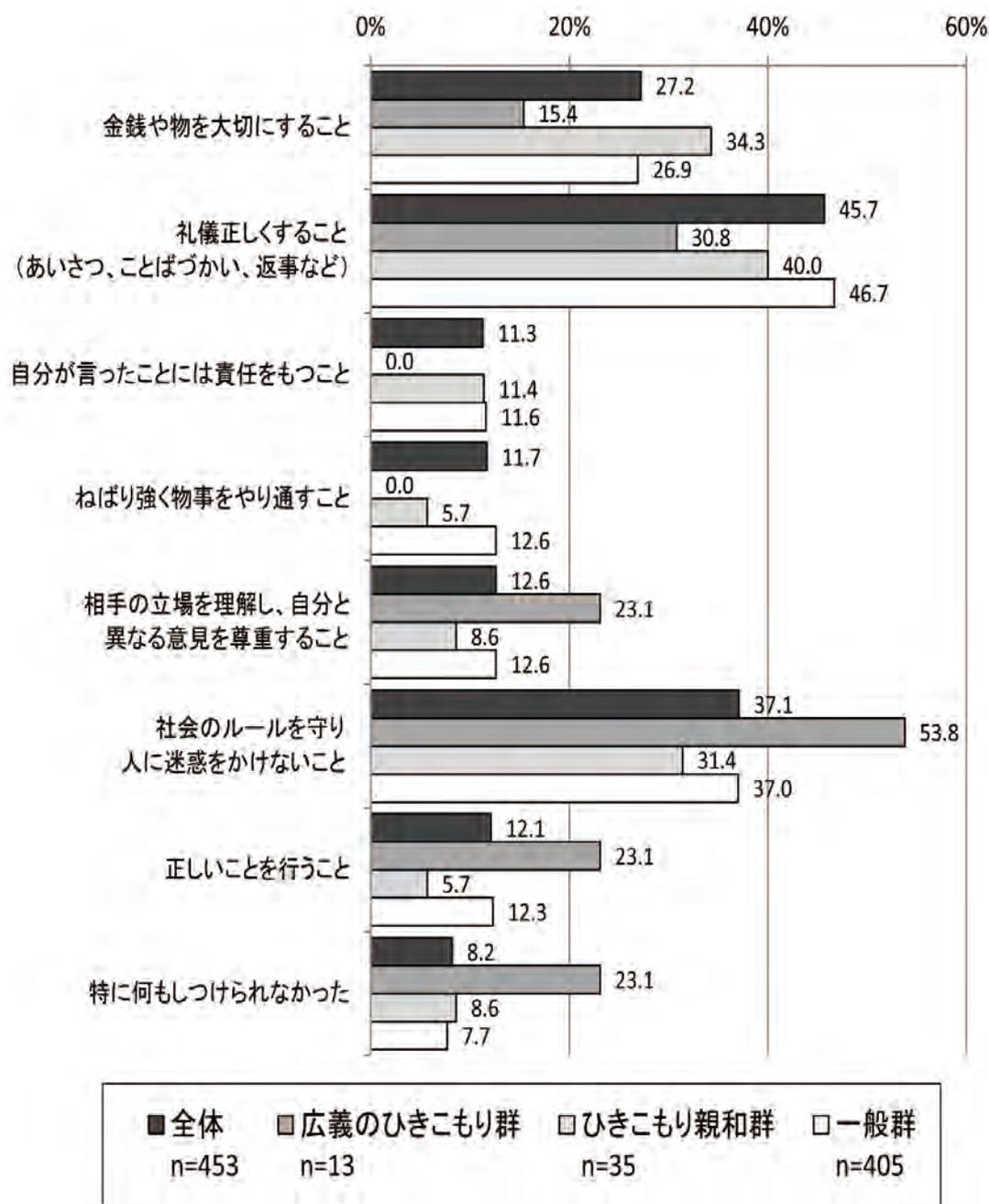
▶▶▶ 13 家庭で受けたしつけ

問  
 あなたが家庭で受けたしつけのうち、しつけられて良かったことはあるでしょうか。次の中から、特に良かったと思う番号を3つまで選んで○をつけてください。

一般群とひきこもり親和群で一番多かった回答は「礼儀正しくすること」、次に「社会のルールを守り人に迷惑をかけないこと」の順であり、広義のひきこもり群は「社会のルールを守り人に迷惑をかけないこと」、次に「礼儀正しくすること」の順である。

図209

家庭で受けたしつけ



▶▶ 14 自宅をよくすること

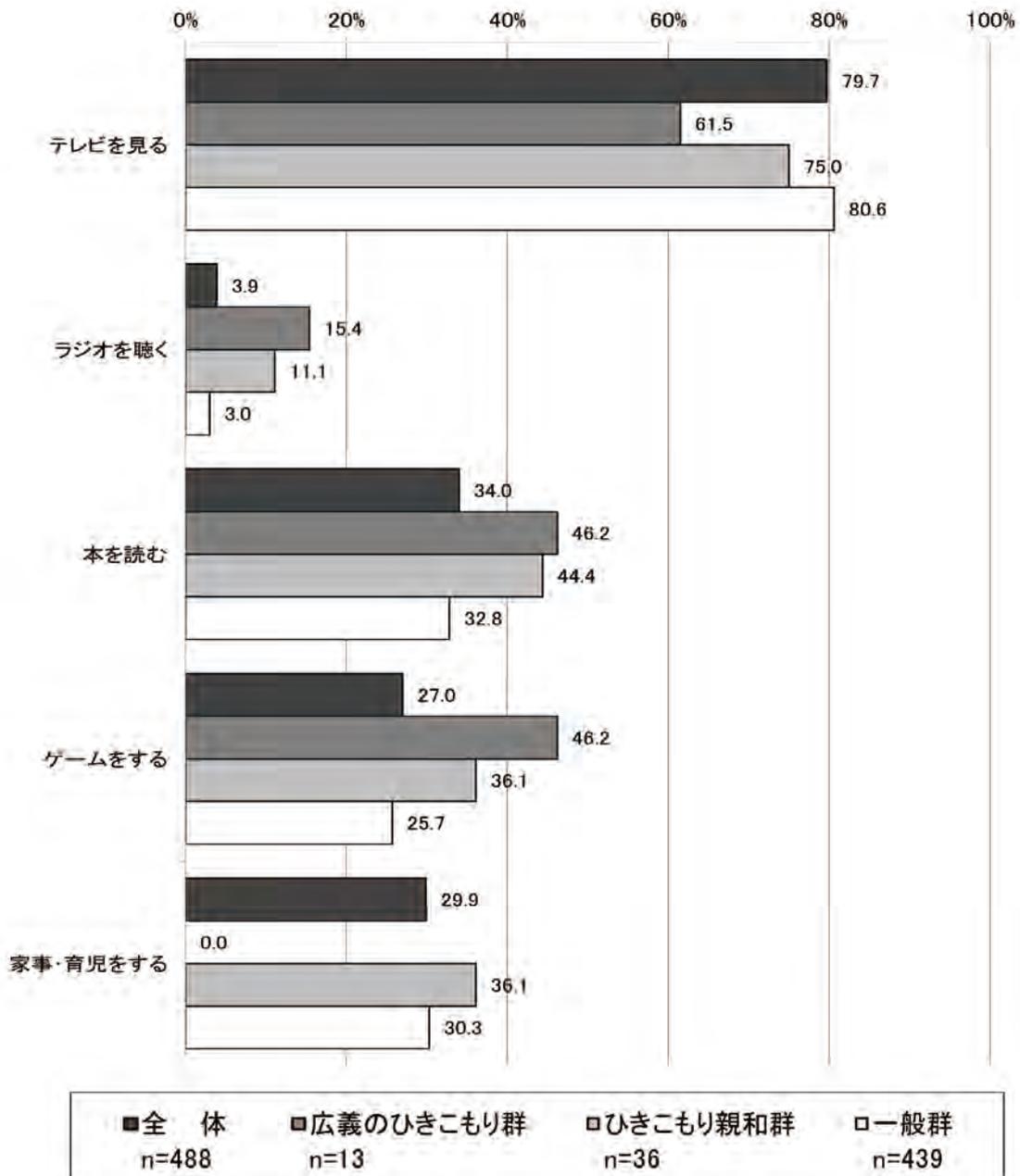
問  
あなたが、普段ご自宅にいるときによくしていることを、次の中からいくつでも選んで○をつけてください。

全体的に見て、一般群、ひきこもり親和群、広義のひきこもり群に共通して一番多かったのは「テレビを見る」で、次に「本を読む」の順である。

広義のひきこもり群とひきこもり親和群は、一般群と比較し、「ラジオを聴く」がそれぞれ5倍、3倍を上回っている。全国調査のひきこもり群も「ラジオを聴く」が13.6%であり、他の群の約2倍であった。「ゲームをする」も同様に、広義のひきこもり群、ひきこもり親和群は一般群を10%以上上回っている。また、広義のひきこもり群で「家事・育児をする」を選択した方はなかった。

図210

自宅をよくすること

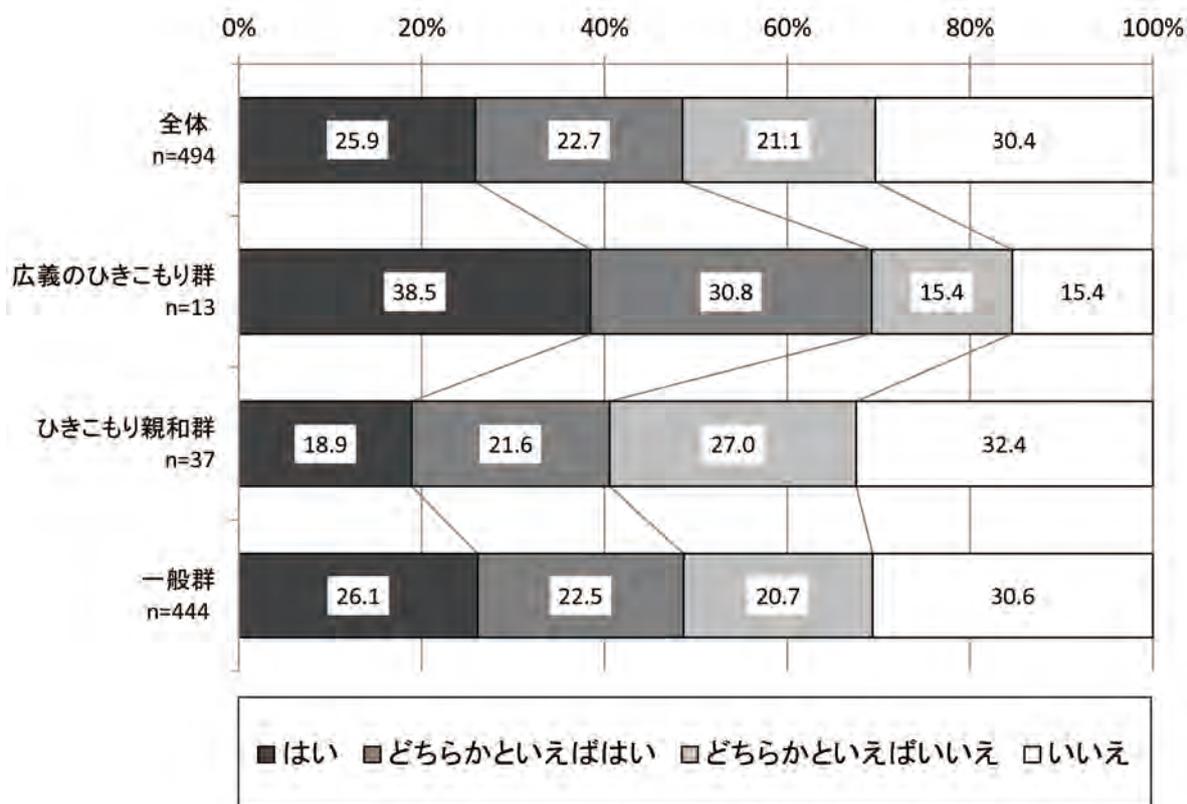


問  
 次の(1)～(2)について、あなた自身にあてはまる番号に1つずつ○をつけてください。(○は各項目につきひとつ)

「はい」と「どちらかといえばはい」を合わせると一般群とひきこもり親和群は5割を下回っている。広義のひきこもり群においては約7割である。

図211

(1) 食事や掃除は親まかせである

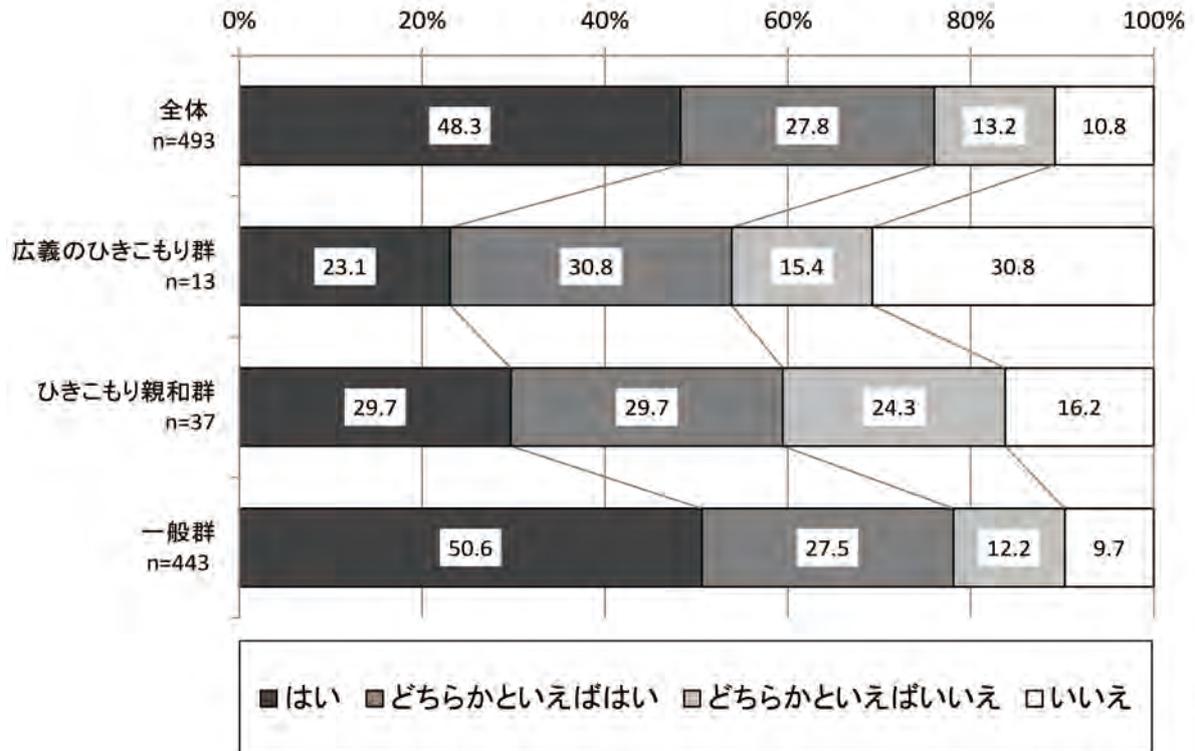


▶▶▶ 15 基本的な生活習慣

「はい」と「どちらかといえばはい」を合わせると、一番多いのは一般群で約7割、次にひきこもり親和群で約6割、広義のひきこもり群では約5割である。

図212

(2) 朝、決まった時間に起きられる



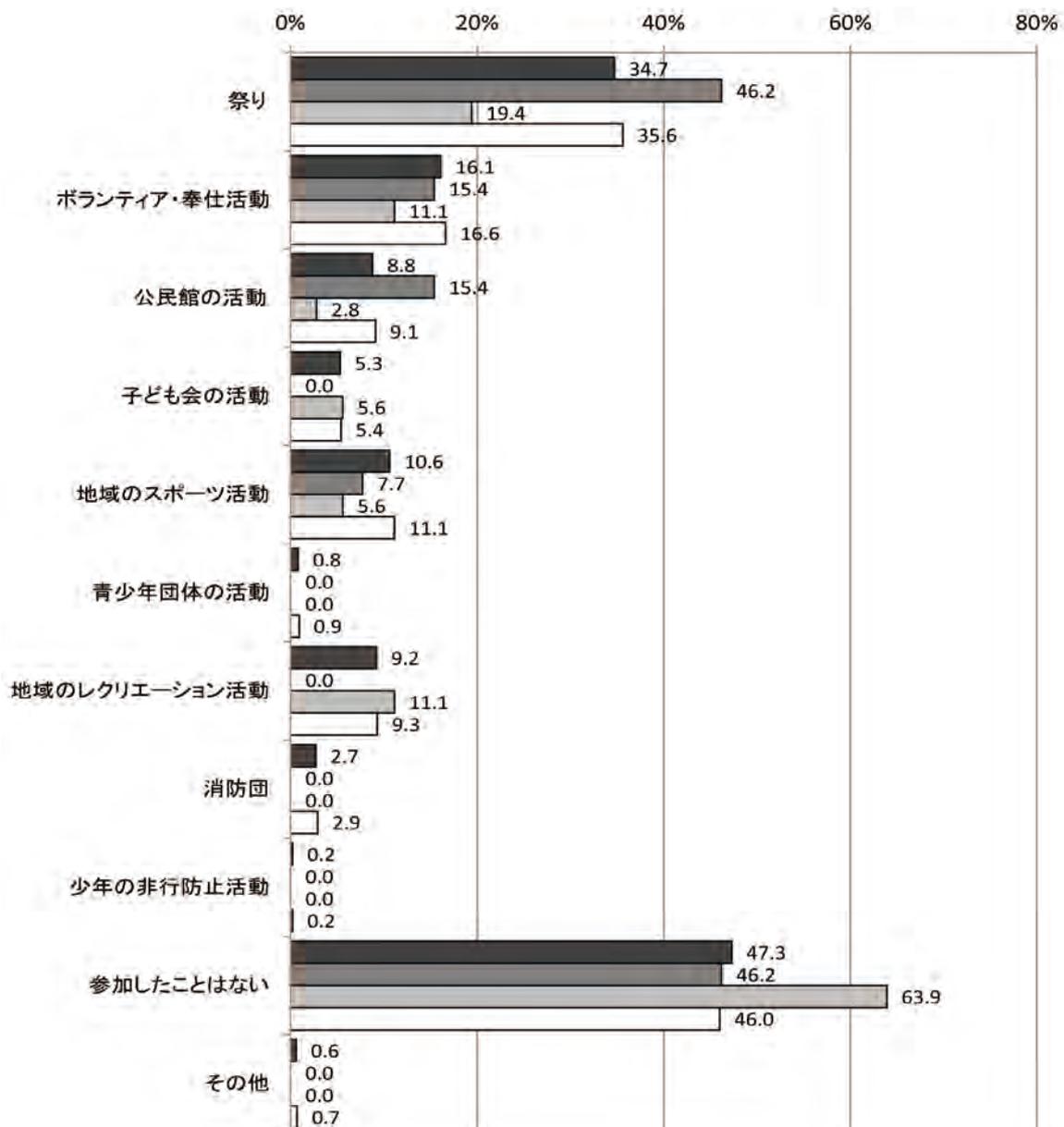
▶▶▶ 16 地域行事への参加状況

問  
 次のような地域の活動の中で、この1年間にあなたが参加したものはどれですか。参加したものをいくつでも選んで○をつけてください。

全体的に見て、どの群でも一番多いのは「参加したことはない」であり、次に「祭り」が続いている。広義のひきこもり群においては「参加したことはない」と「祭り」同じポイントである。

図213

地域行事への参加状況



■ 全体 n=490    ■ 広義のひきこもり群 n=13    ■ ひきこもり親和群 n=36    ■ 一般群 n=441

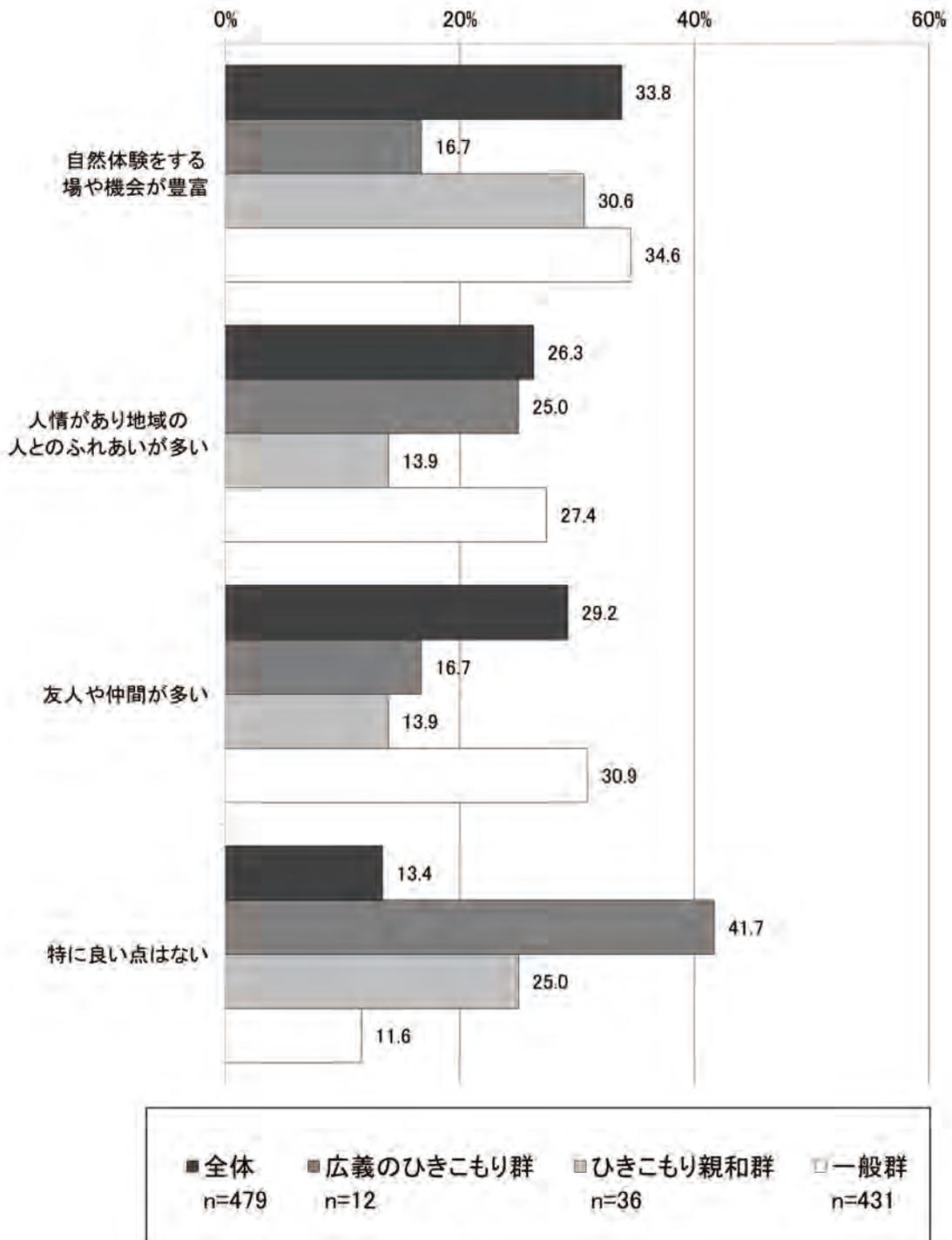
▶▶▶ 17 地域のよい点

問  
あなたが住んでいる地域のよい面を、次の中からいくつでも選んで○をつけてください。

一般群とひきこもり親和群の一番多い回答は「自然を体験する場や機会が豊富」であり、広義のひきこもり群の一番多い回答は「特によい点はない」である。

図214

地域についての意識



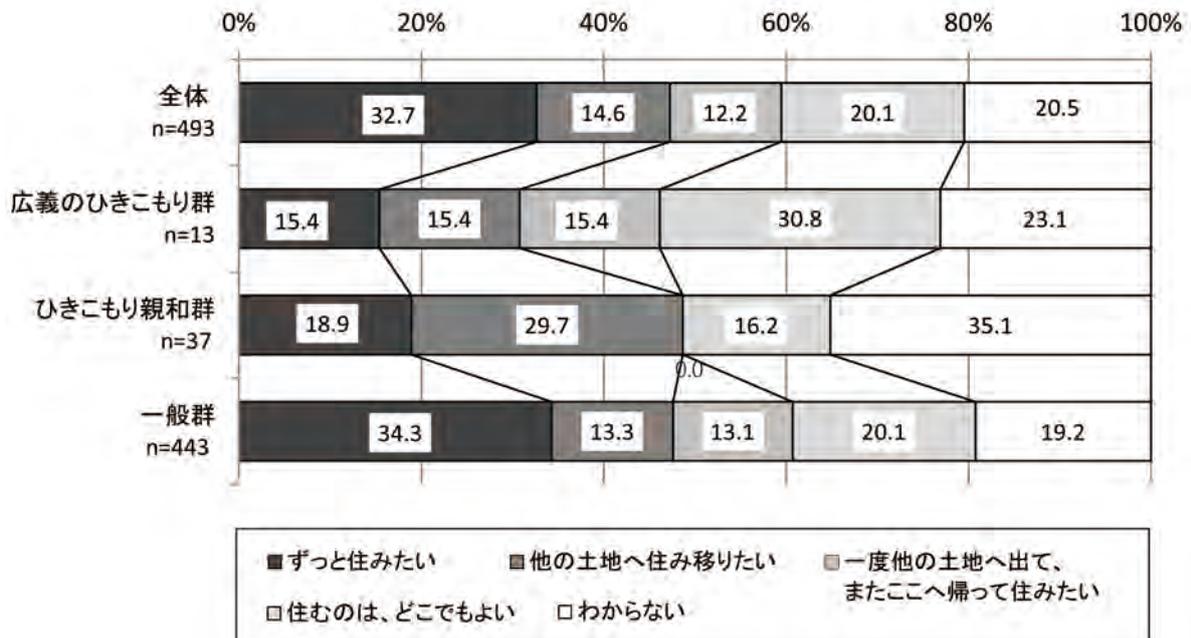
▶▶ 18 地域への居住意向

問  
あなたは、いま住んでいるところに、将来も住みたいと思いますか。次の中から1つ選んで○をつけて。

一般群で一番多い回答は「ずっと住みたい」であり、広義のひきこもり群で一番多い回答は「住むのはどこでもよい」であり、ひきこもり親和群で一番多い回答は「他の土地へ住み移りたい」である。

図215

地域への居住意向



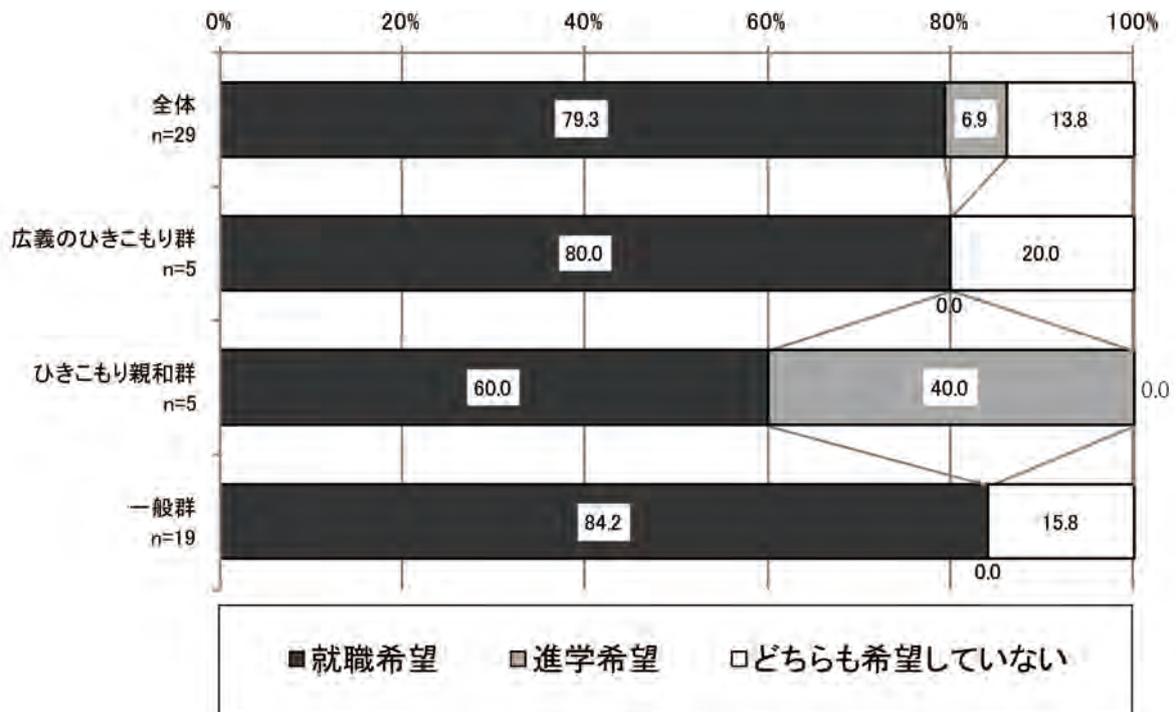
▶▶▶ 19 無職の方の進路希望

問  
 質問 4 (あなたの現在の職業) で、「1 2 派遣会社に登録しているが現在は働いていない」または「1 3 無職」とお答えになった方のみ、回答してください。現在、就職または進学を希望していますか。あてはまる番号に 1 つ○をつけてください。

一般群と広義のひきこもり群は「就職希望」が 8 割を上回っているであるが、ひきこもり親和群は 6 割である。「進学希望」はひきこもり親和群のみが選択しており 4 割である。

図 216

無職の方の進路希望



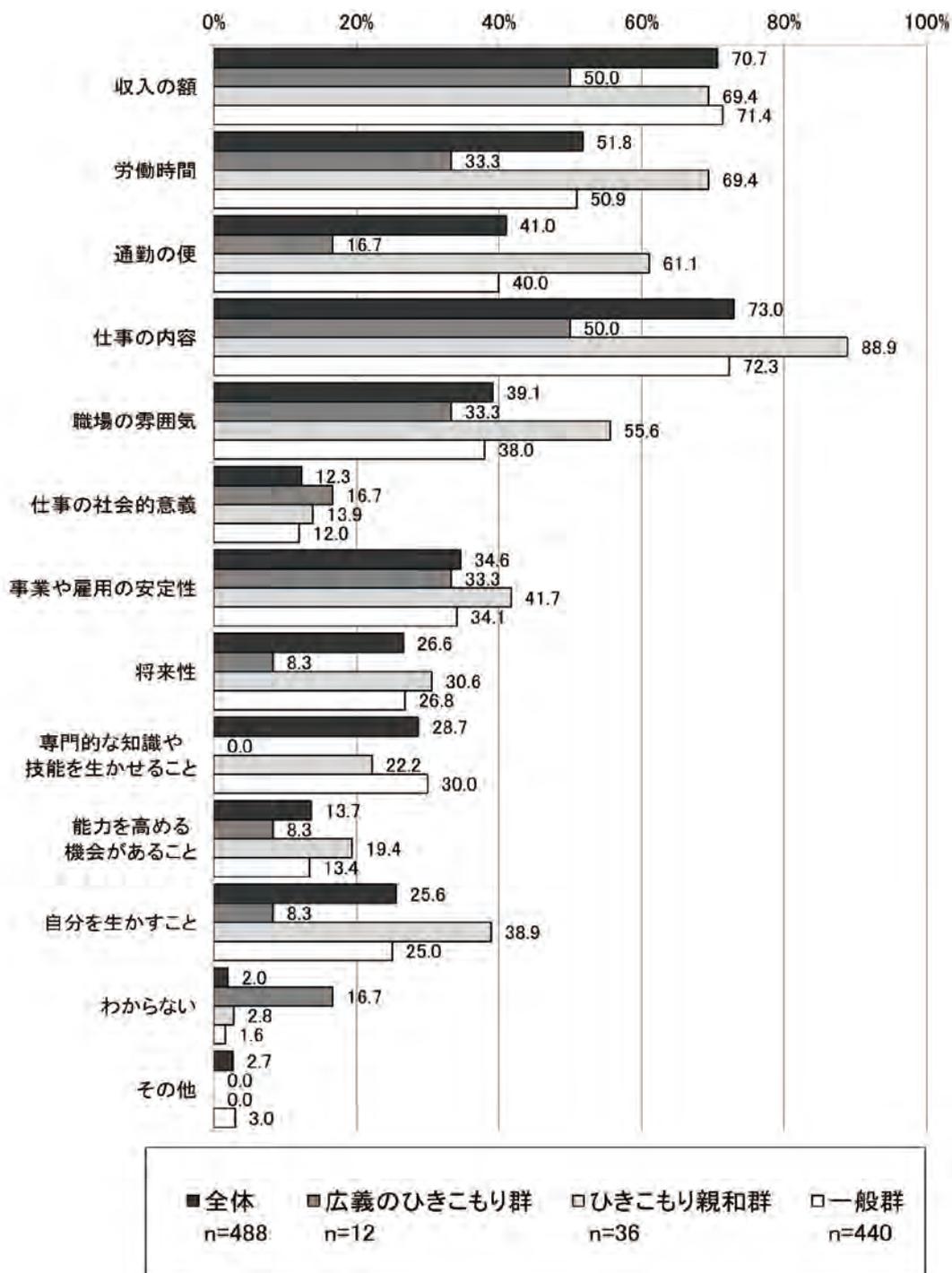
▶▶ 20 職業選択で重視すること

問  
あなたは、仕事を選ぶ際に、どのようなことを重視しますか。次の中から、いくつでも選んで○をつけてください。

どの群でも最も多い回答は「仕事の内容」である。広義のひきこもり群においては「収入の額」も「仕事の内容」と同じポイントで最も多い回答となっている。

図217

職業選択で重視すること



問  
次の(1)～(4)について、あなた自身にあてはまる番号に1つずつ○をつけてください。(○は各項目につきひとつ)

項目別に見ていくと、「いつか自分にふさわしい仕事が見つかると思う」では、「いいえ」と回答した一般群とひきこもり親和群は1割以下であるが、広義のひきこもり群は3割を超えている。

「仕事をしなくても生活できるのならば、仕事はしたくない」については、「はい」と回答した一般群は約2割であるが、広義のひきこもり群とひきこもり親和群ではそれぞれ4割を上回っている。

「定職に就かない方が自由でいいと思う」では、「はい」「どちらかといえばはい」を合わせた割合が、広義のひきこもり群、ひきこもり親和群で3割を超え、一般群の3倍となっている。

図218

(1) いつか必ず自分にふさわしい仕事が見つかると思う

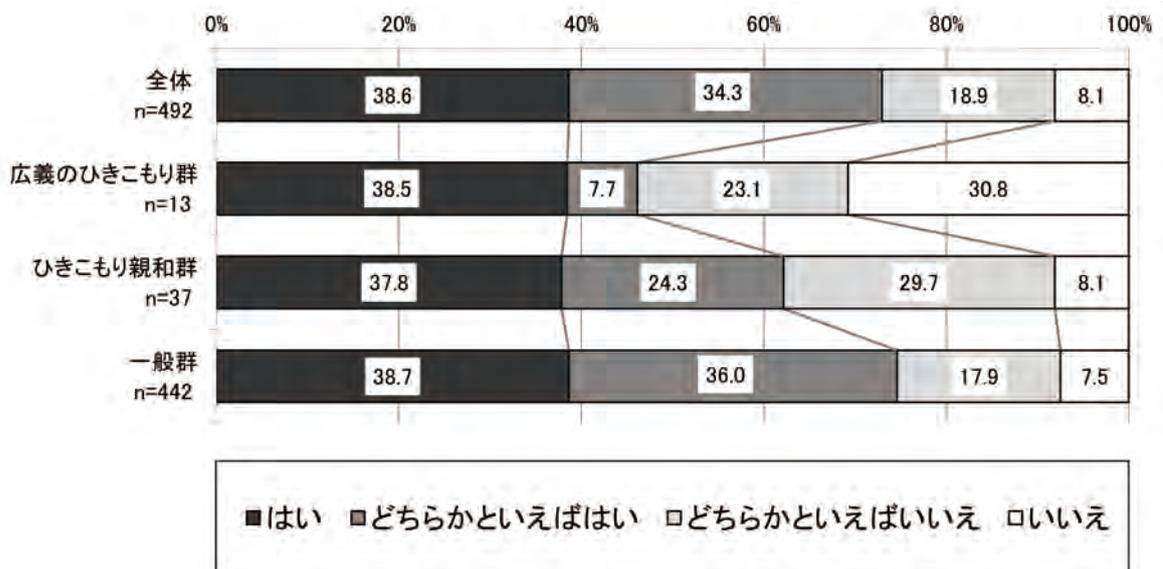


図219

(2) いつか自分の夢を実現させる仕事に就きたい

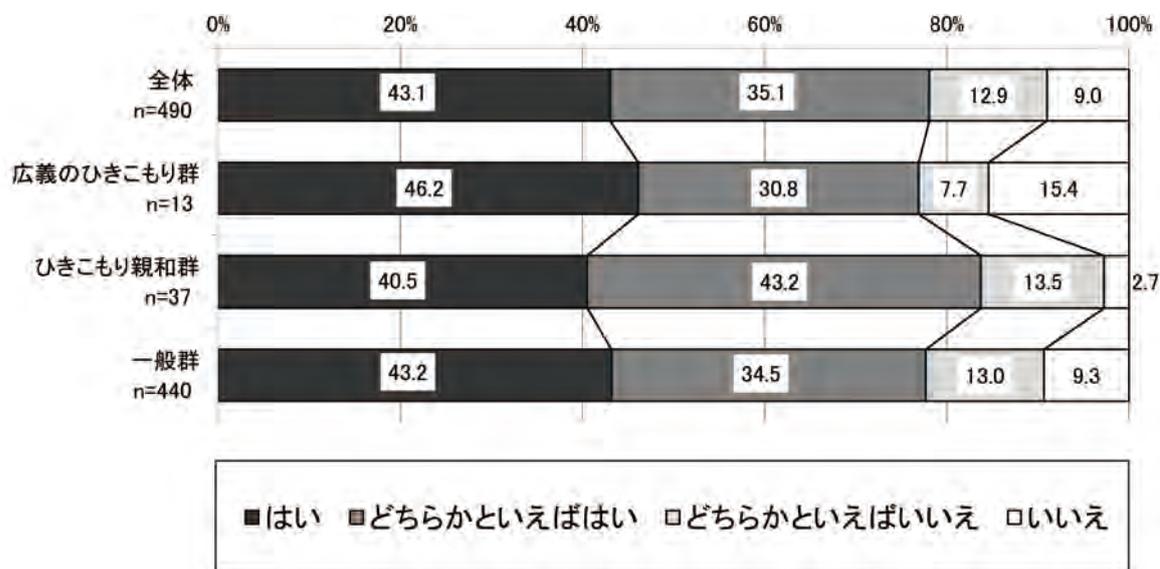


図220

(3) 仕事をしなくても生活できるのならば、仕事はしたくない

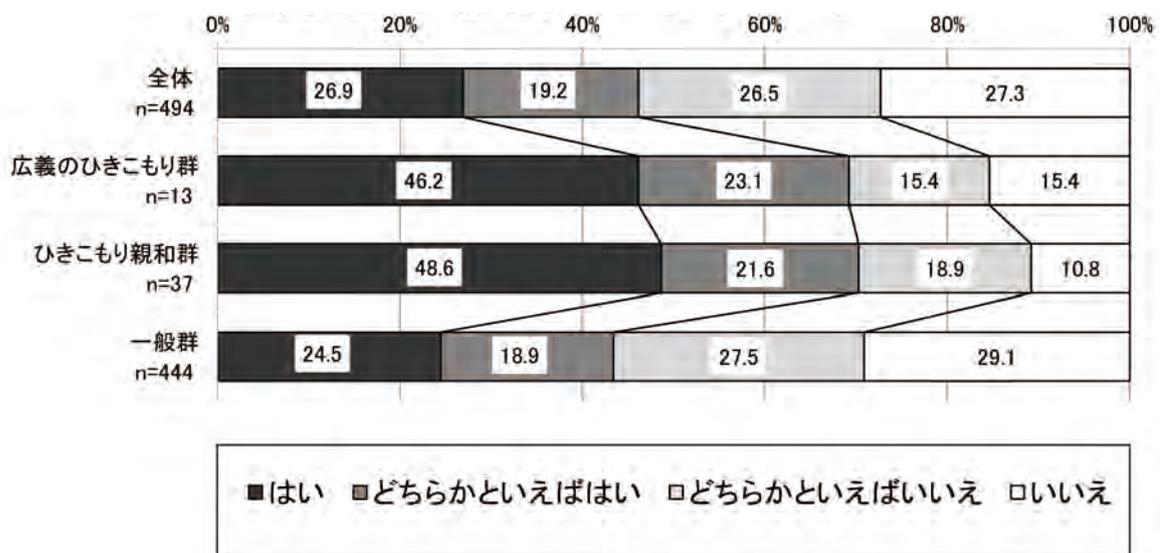
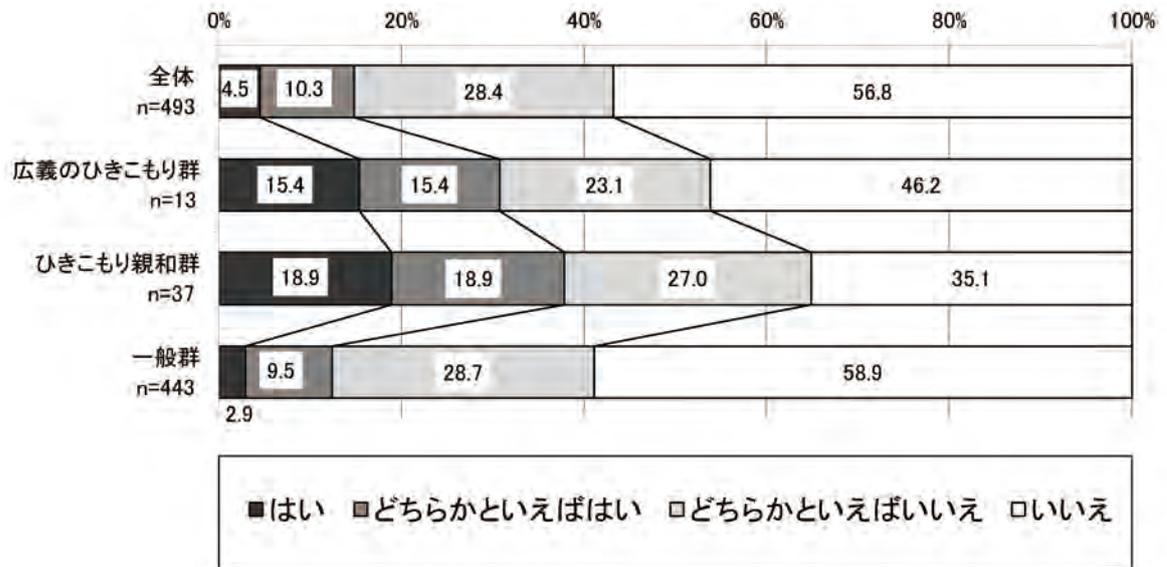


図221

(4) 定職に就かない方が自由でいいと思う

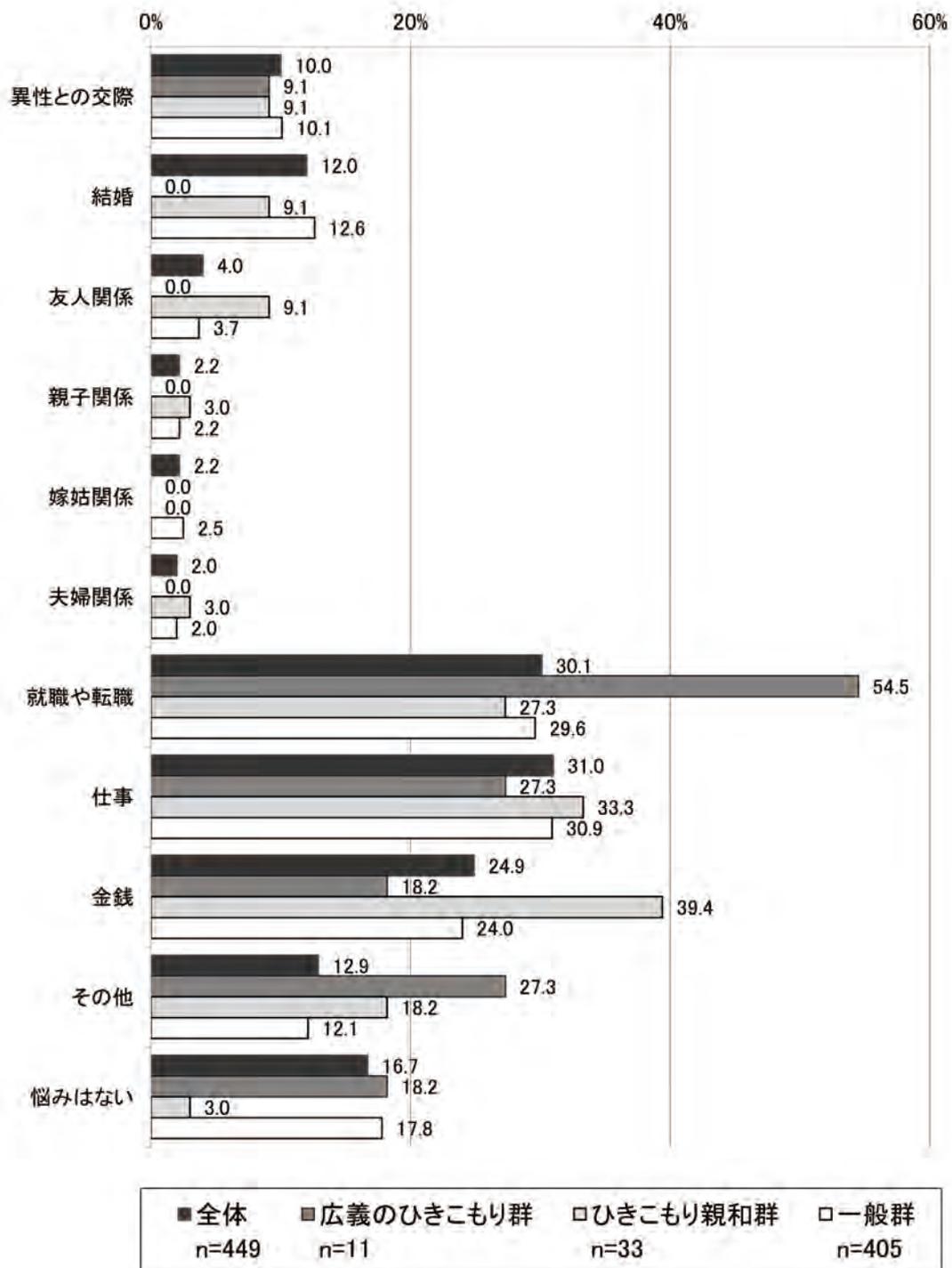


問  
最近、あなたが悩んでいることは何についてですか。次の中から2つまで選んで○をつけてください。

一般群で一番多かったのは「仕事」であり、「就職や転職」「金銭」と続いている。広義のひきこもり群では「就職や転職」「仕事」「金銭」の順である。ひきこもり親和群では「金銭」「仕事」「転職や就職」と続いている。

図222

悩 み

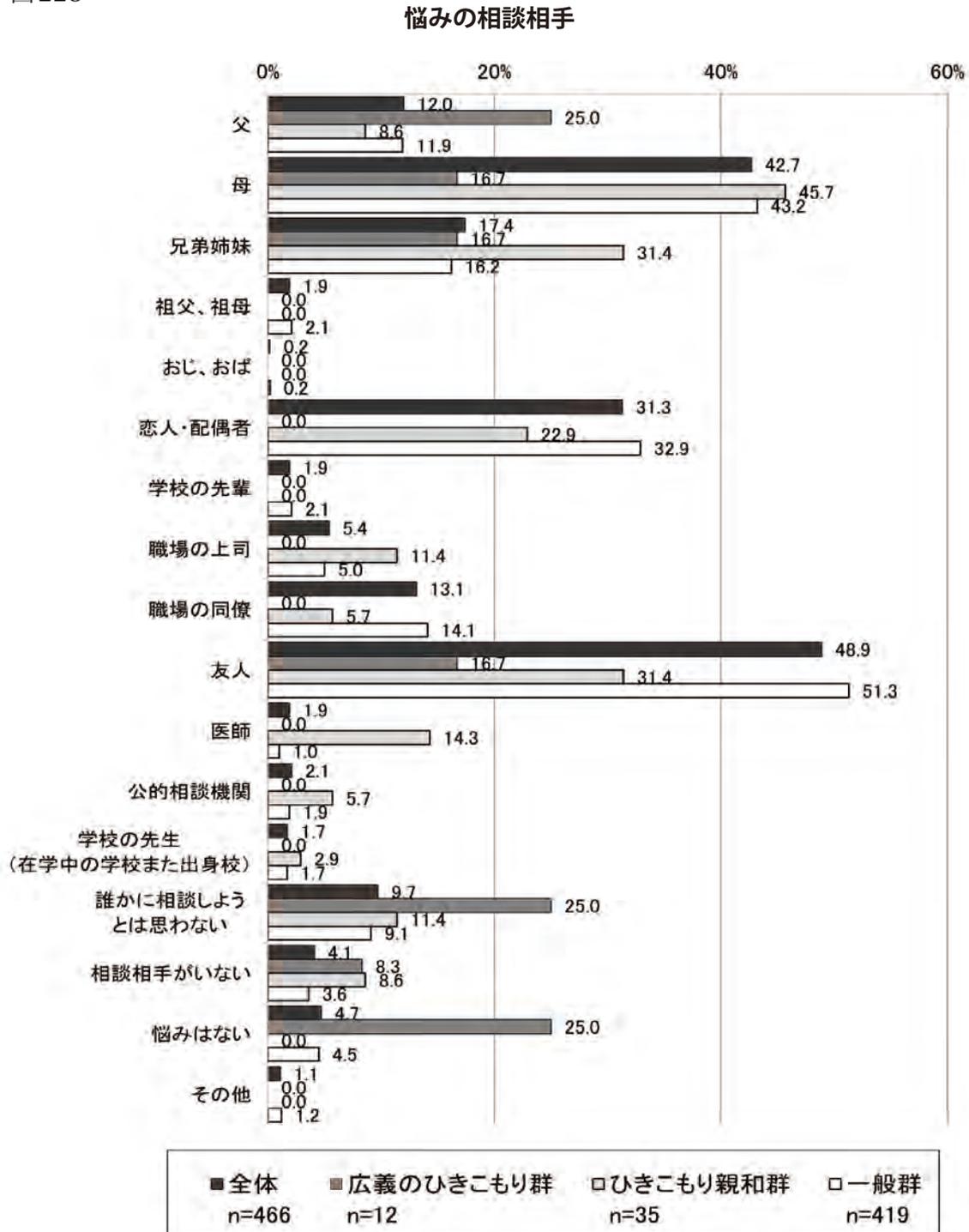


▶▶▶ 23 悩みの相談相手

問  
あなたは、悩みを誰に相談していますか。次の中から3つまで選んで○をつけてください。

一般群で一番多いのは「友人」であり、次に「母」、「恋人・配偶者」と続いている。広義のひきこもり群では「誰かに相談しようとは思わない」と「悩みはない」が同ポイントで並んでいる。ひきこもり親和群は一番多いのは「母」、次に「兄弟姉妹」と「友人」が同ポイントで並んでいる。

図223



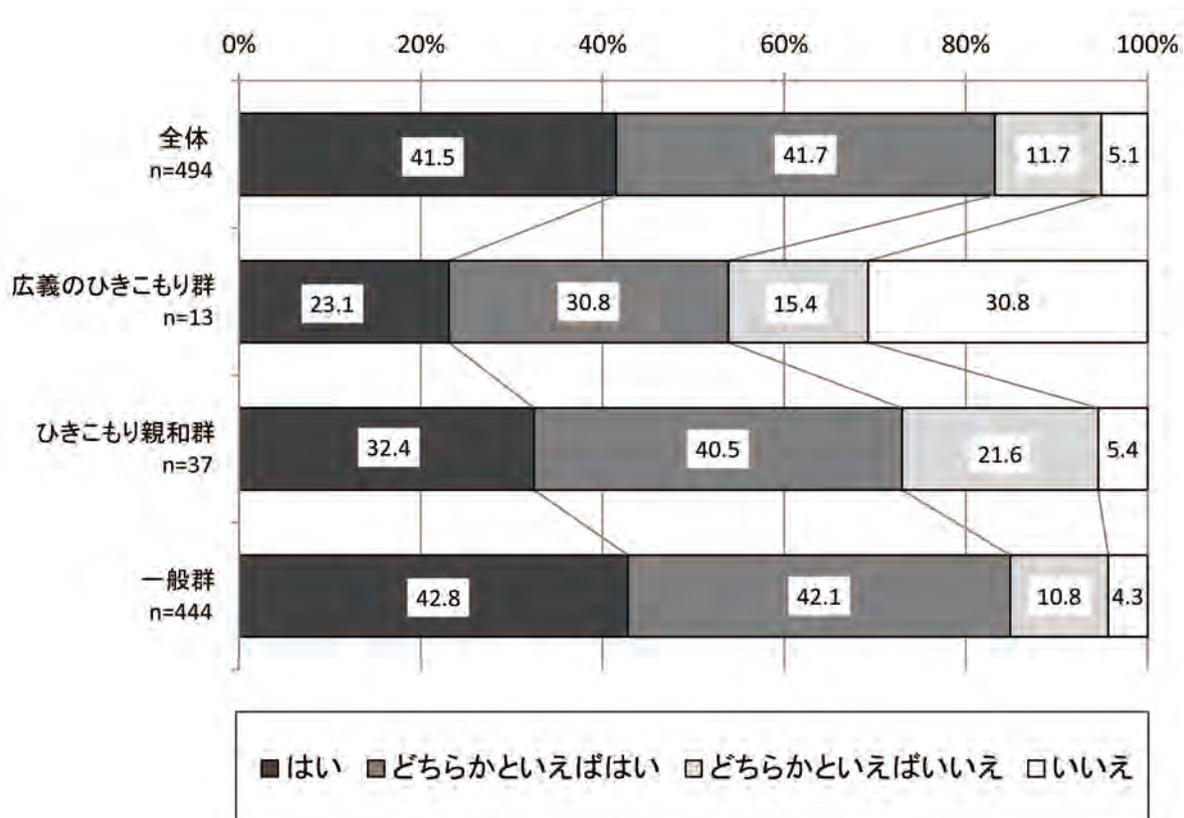
▶▶ 24 自己肯定感

問  
 次の(1)～(2)について、あなた自身にあてはまる番号に1つずつ○をつけてください。(○は各項目につきひとつ)

「はい」と「どちらかといえばはい」を合わせると、一般群は8割を超え、ひきこもり親和群は7割を上回っているが、広義のひきこもり群は約5割である。

図224

(1) 自分にはよいところがある

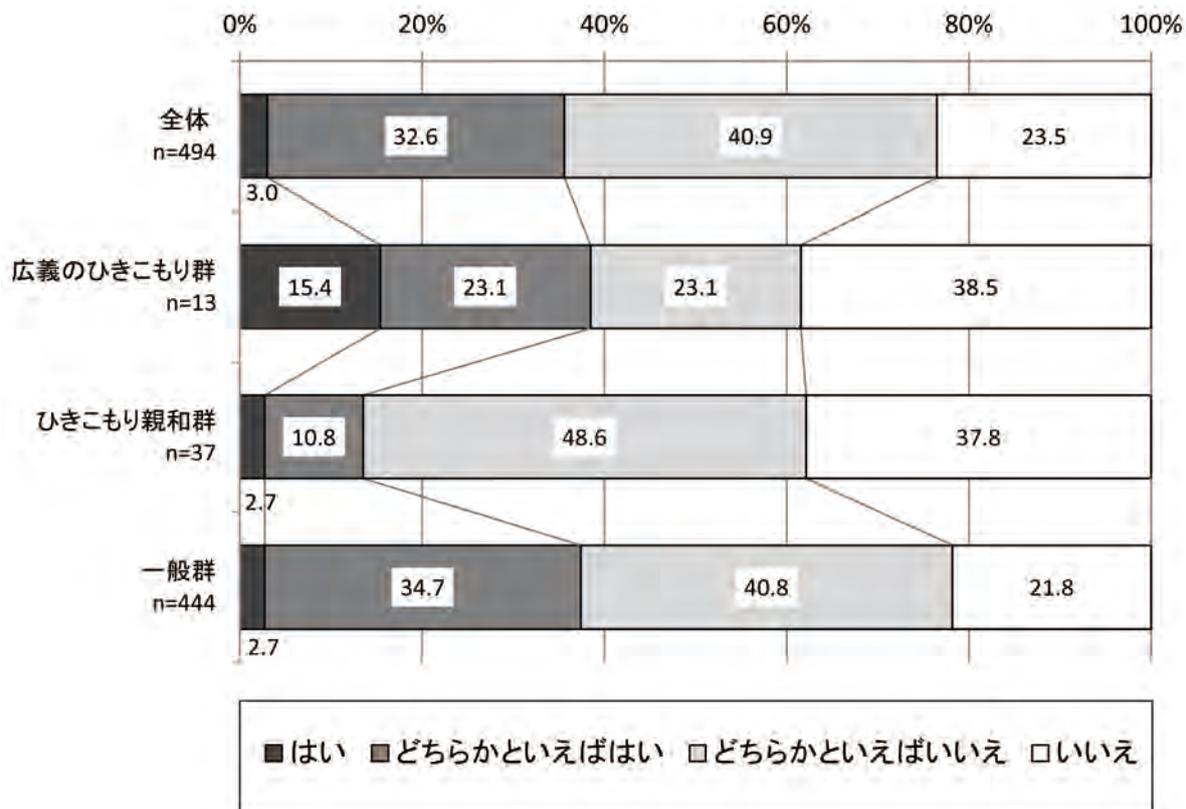


▶▶▶ 24 自己肯定感

「はい」と「どちらかといえばはい」を合わせると、一般群と広義のひきこもり群それぞれが3割上回っているが、ひきこもり親和群では約1割である。

図225

(2) 自分は何でもうまくやれる



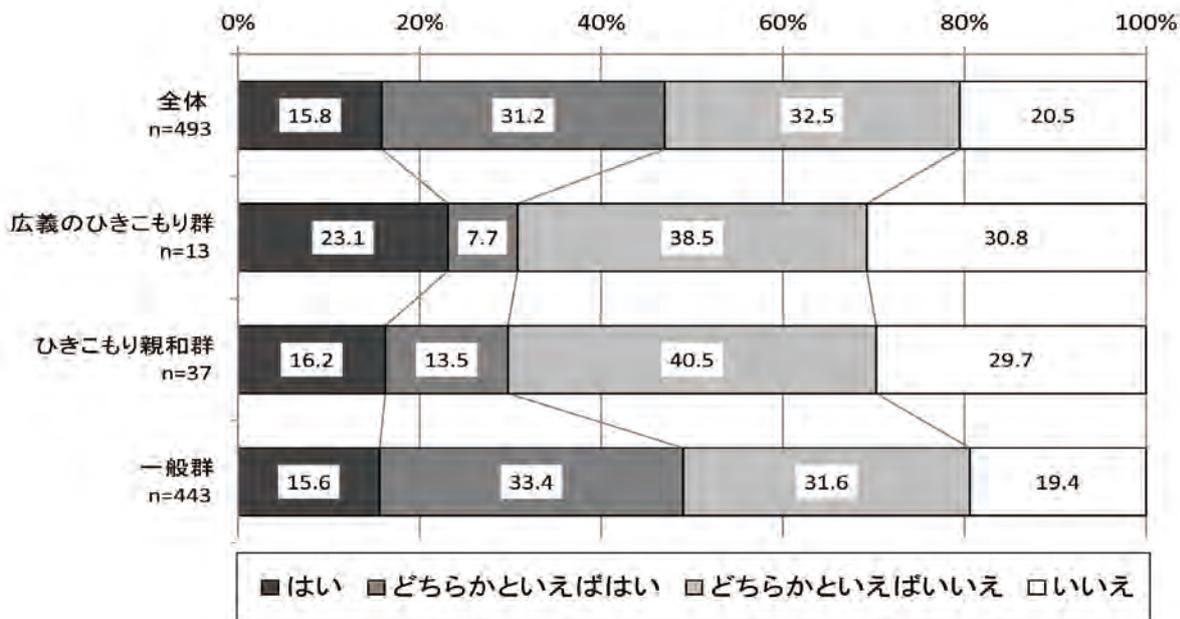
▶▶▶ 25 対人関係に関する意識

問  
次の(1)～(2)について、あなた自身にあてはまる番号に1つずつ○をつけてください。  
(○は各項目につきひとつ)

「はい」と「どちらかといえばはい」を合わせると、一般は4割を超えている。広義のひきこもり群とひきこもり親和群では約3割である。

図226

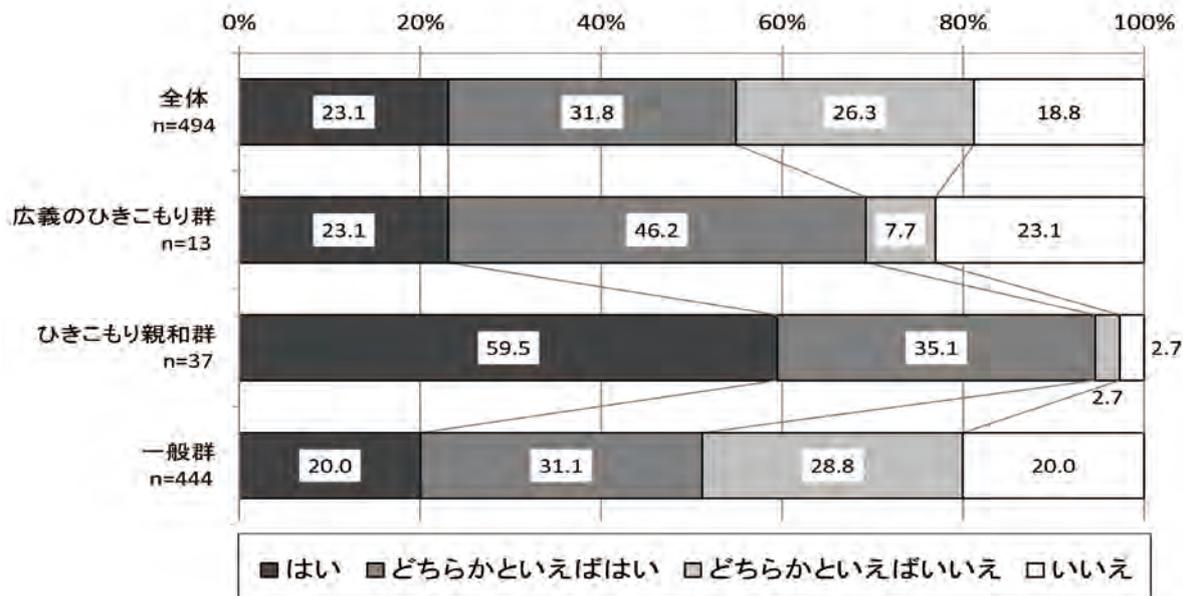
(1) 初対面の人とすぐに会話できる自信がある



「はい」と「どちらかといえばはい」を合わせると、ひきこもり親和群では9割を超えており、広義のひきこもり群では約7割、一般群では約5割である。

図227

(2) 人とのつきあい方が不器用なのではないかと悩む

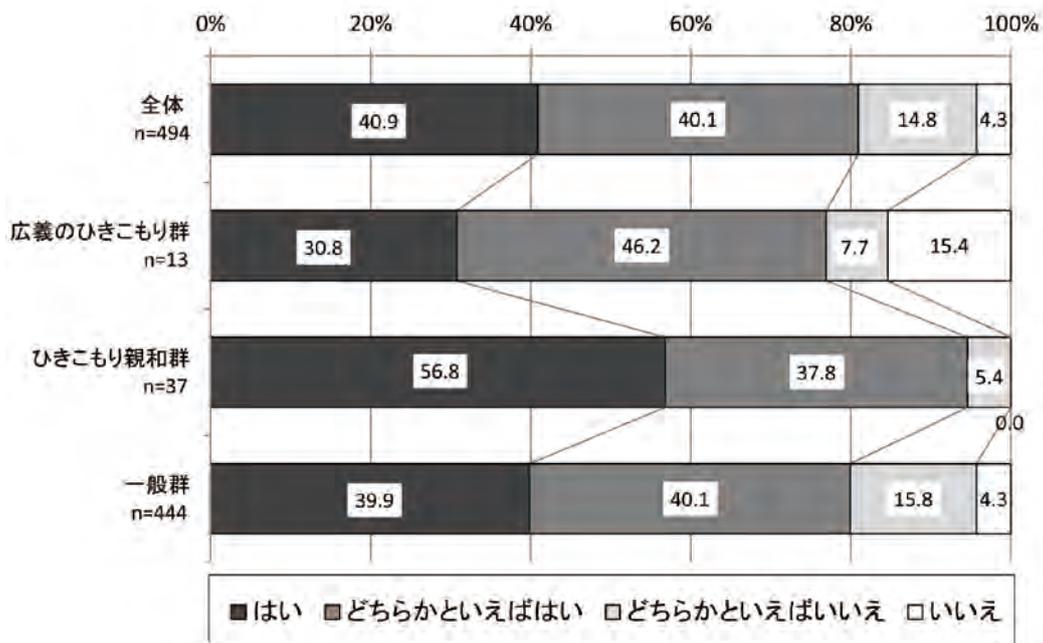


問  
次の(1)～(3)について、あなた自身にあてはまる番号に1つずつ○をつけてください。(○は各項目につきひとつ)

広義のひきこもり群で「はい」と回答した割合は一般群より約1割少ないが、ひきこもり親和群では、「はい」は一般群より15%程度多い。

図228

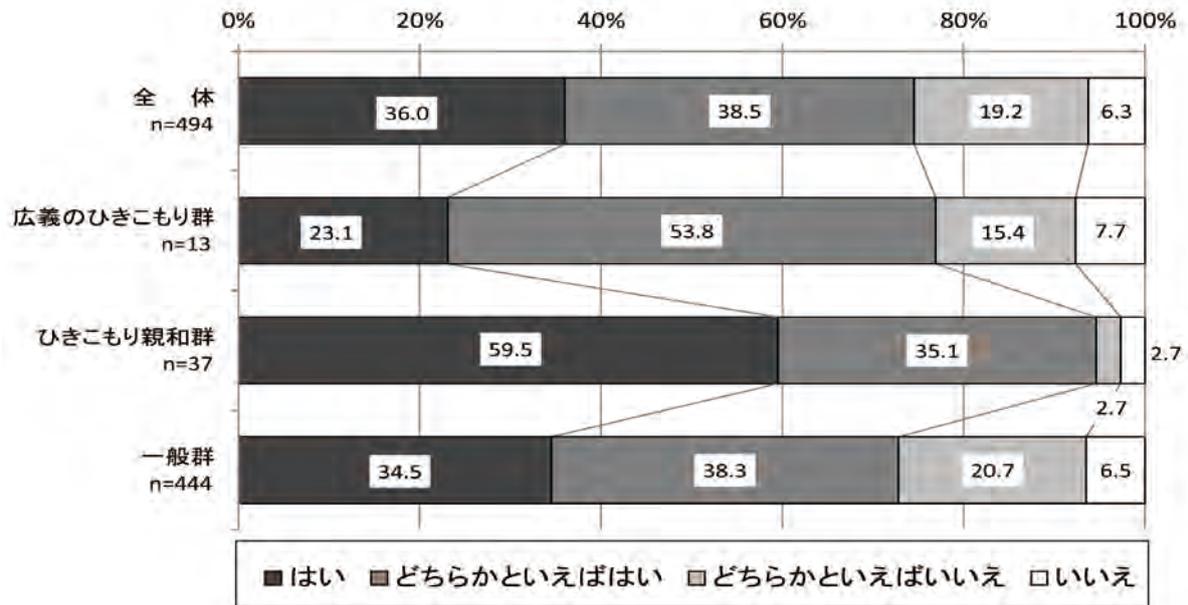
(1) 人からどう思われているか気になる



広義のひきこもり群で「はい」と回答した割合は一般群より約1割少ないが、ひきこもり親和群で「はい」と回答した割合は一般群より25%多い。

図229

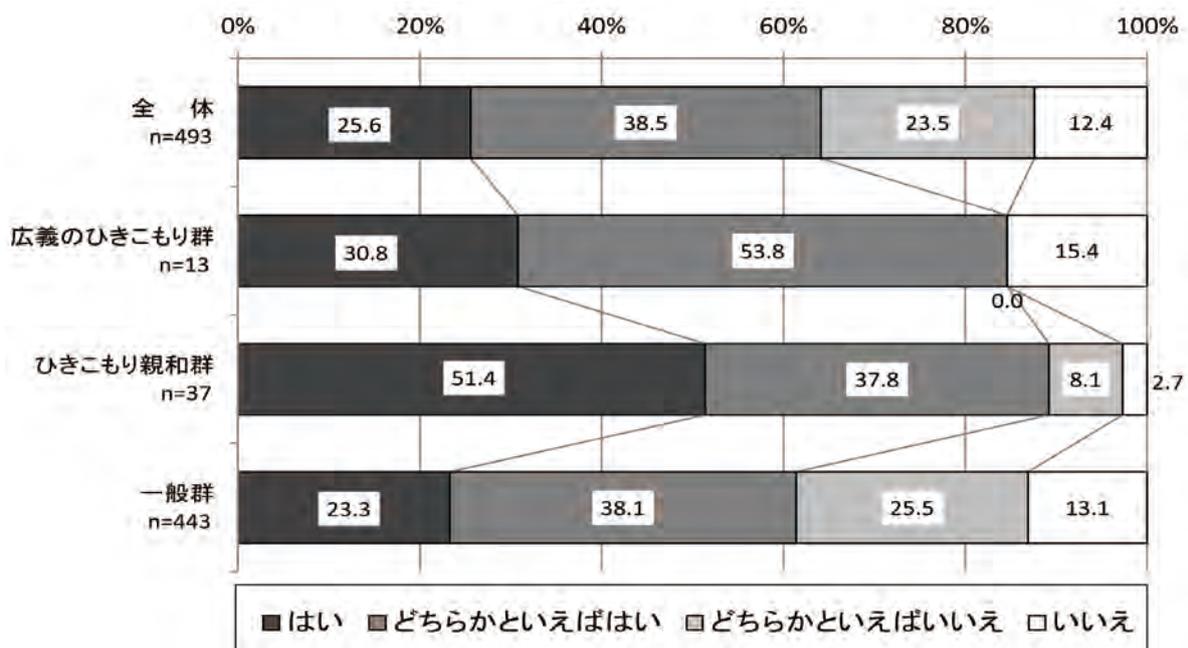
(2) いらいらしたり、おこりっぽくなったりすることがある



「はい」または「どちらかといえばはい」は、一般群に比べて広義のひきこもり群が約1割、ひきこもり親和群が約3割多い。

図230

(3) いつも疲れた感じがする



▶▶ 27 充実しているとき

問  
あなたは、どんなときに充実していると感じますか。次の中からあてはまるものを、いくつでも選んで○をつけてください。

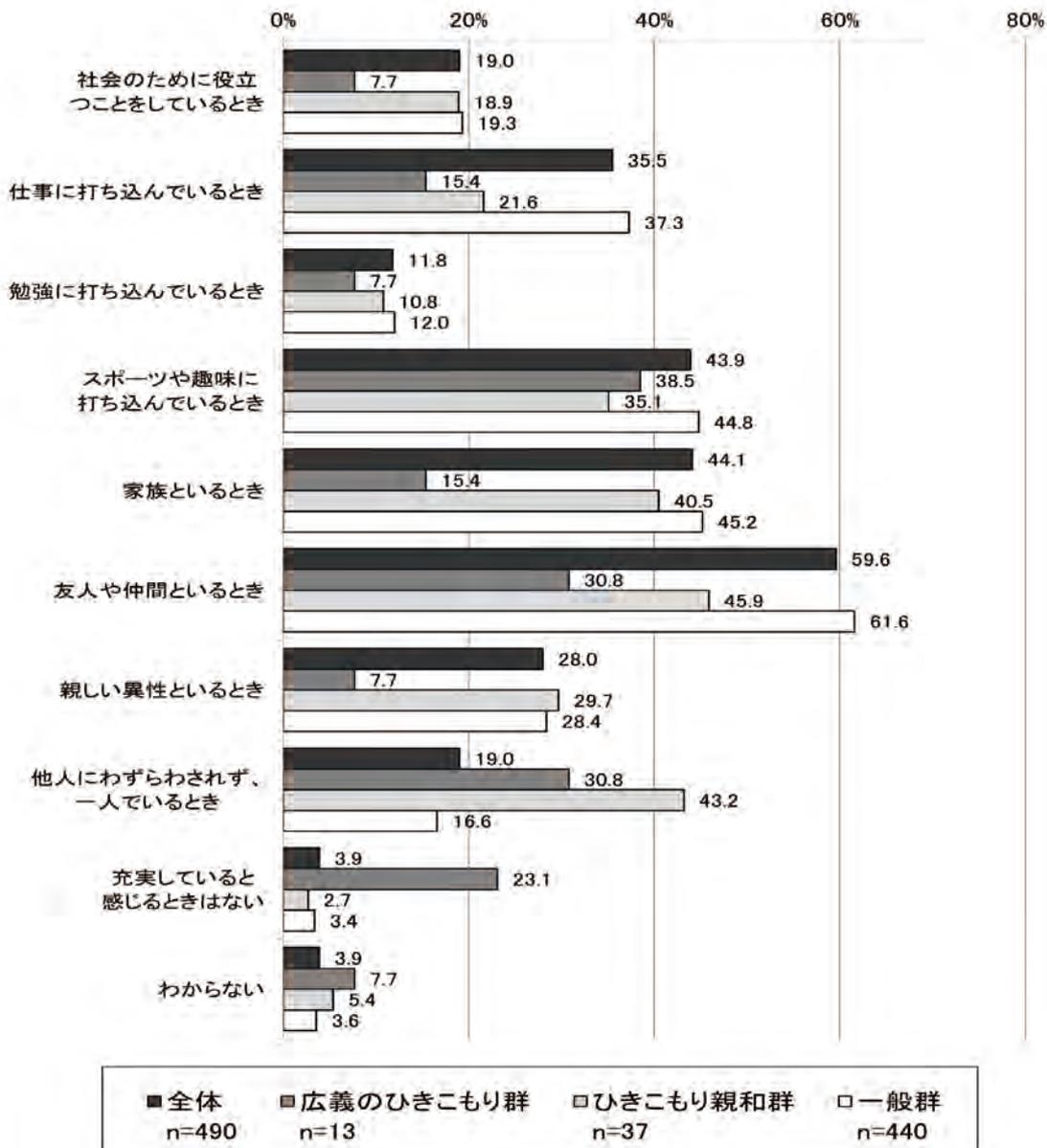
一般群で一番多かった回答は「友人や仲間といるとき」、次に「家族といるとき」、「スポーツや趣味に打ち込んでいるとき」である。

広義のひきこもり群では「スポーツや趣味に打ち込んでいるとき」が一番多く、次に「友人や仲間といるとき」と「他人にわずらわされず、一人でいるとき」が同じポイントで並んでいる。

ひきこもり親和群については、「友人や仲間といるとき」が一番多く、次に「他人にわずらわされず、一人でいるとき」、「家族といるとき」の順である。

図231

充実しているとき



## ▶▶ 28 若いうちにすべきこと

---

問

あなたが、「これだけは若いうちに是非やっておくべきだ」と考えていることを次の中からいくつでも選んで○をつけてください。

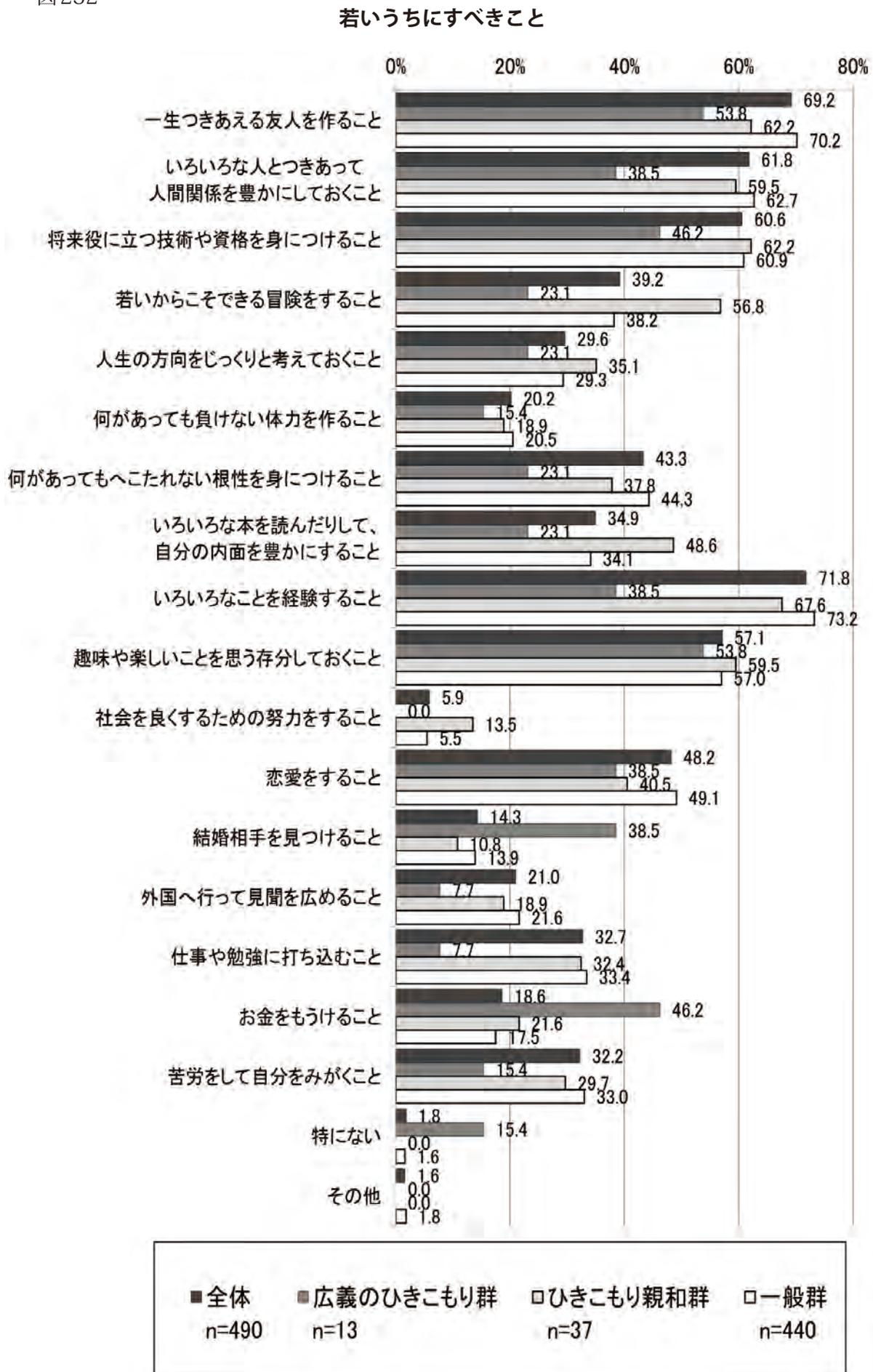
一般群では「いろいろな経験をする事」、「一生つきあえる友人を作る事」、「いろいろな人につきあって人間関係を豊かにしておく事」の順になっている。

ひきこもり親和群は「いろいろな経験をする事」が一番多く、次に「一生つきあえる友人を作る事」と「将来に役立つ技術や資格を身につける事」が同じポイントで並んでいる。

広義のひきこもり群は「一生つきあえる友人を作る事」と「趣味や楽しいことを思う存分しておく事」が同じポイントで並んでおり、次に「将来に役立つ技術や資格を身につける事」と「お金をもうける事」が同ポイントで並んでいる。

※図は次ページ参照

図 232



▶▶▶ 29 体験的活動の経験

問  
あなたは、18歳（高校卒業）までに（1）から（6）までのことがらについて、したことがありますか。それぞれあてはまる番号に1つずつ○をつけてください。（○は各項目につきひとつ）

いずれの体験的活動も広義のひきこもり群は、一般群に比べて少ない。

図 233

（1）海、山、湖、川で遊んだことがある

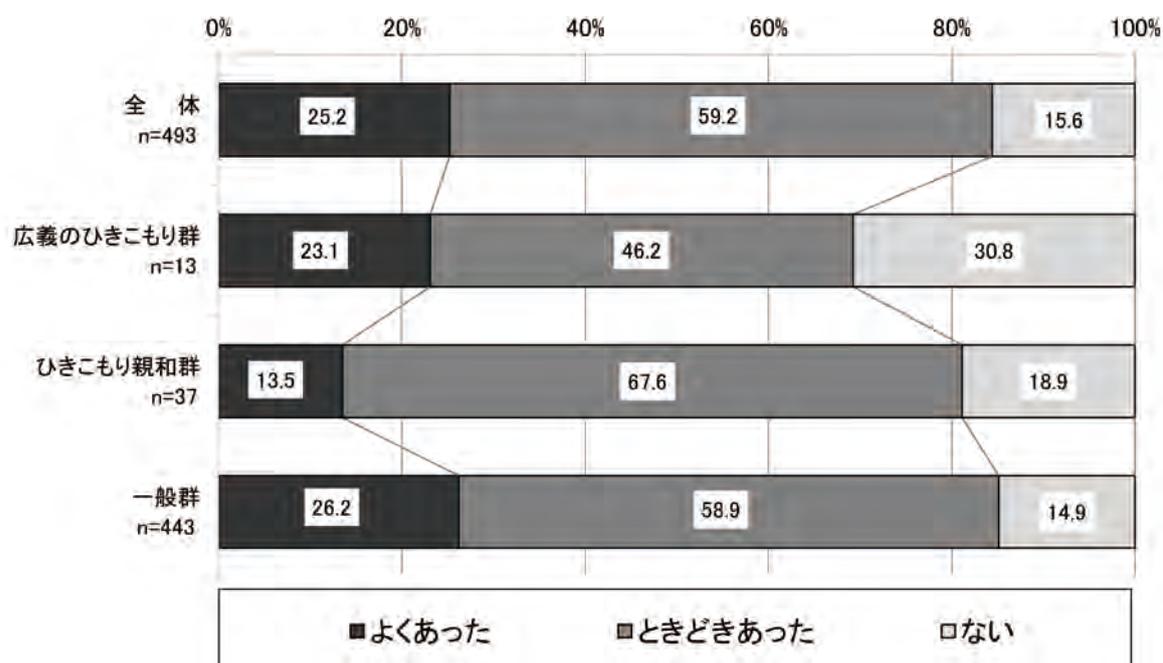


図 234

（2）動物を飼ったり、花や野菜を育てたりしたことがある

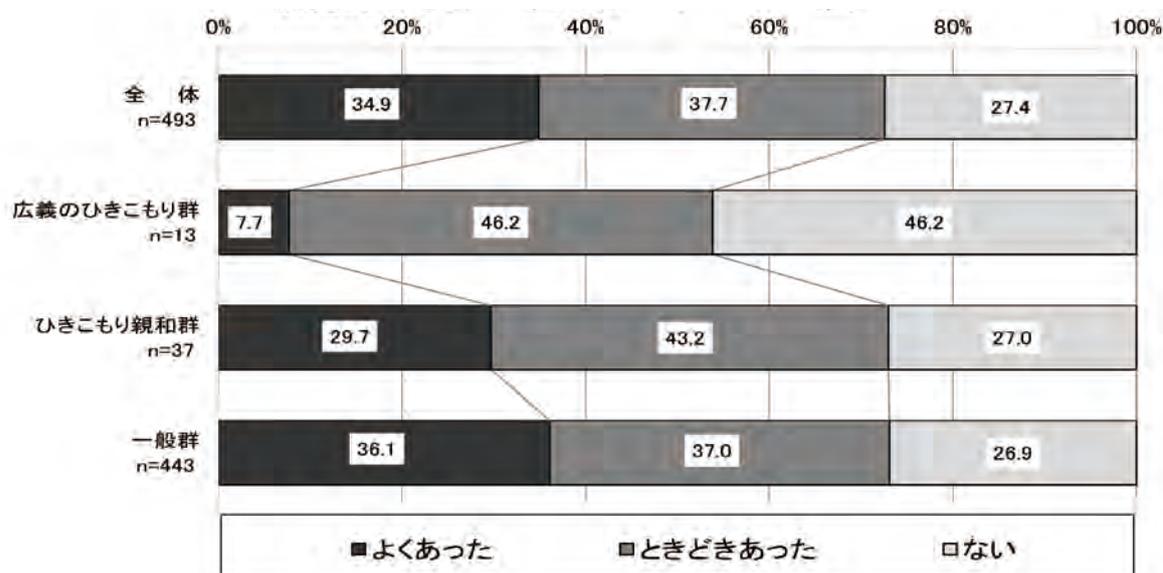


図 235

(3) 体の不自由な人やお年寄りなど困っている人の手助けをしたことがある

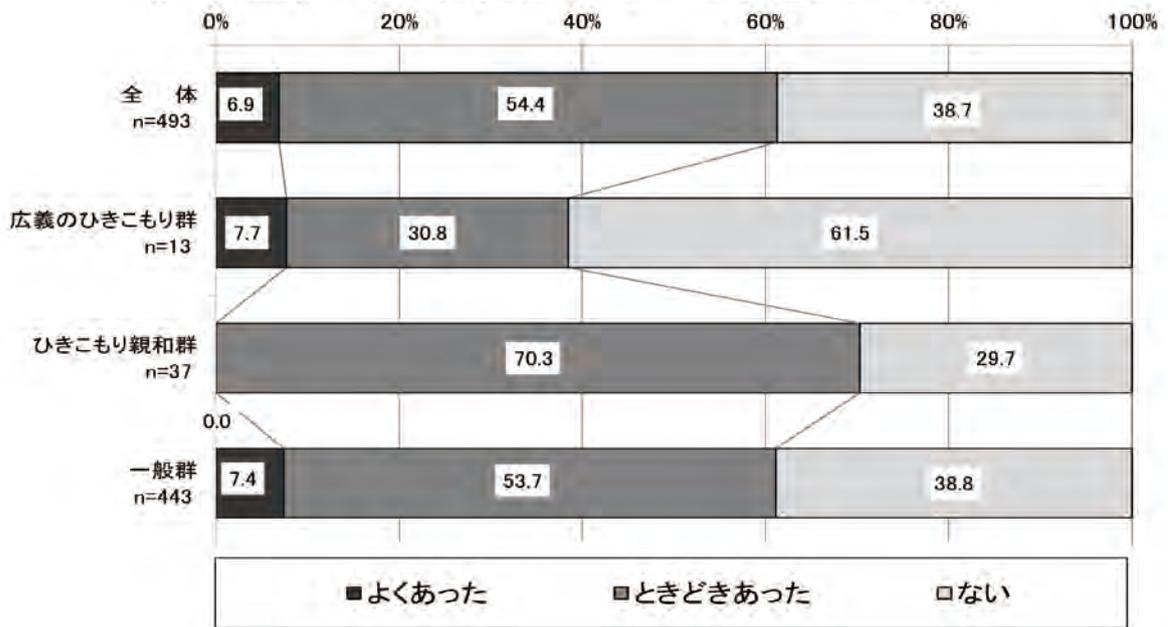


図 236

(4) 包丁やナイフを使って料理をしたことがある

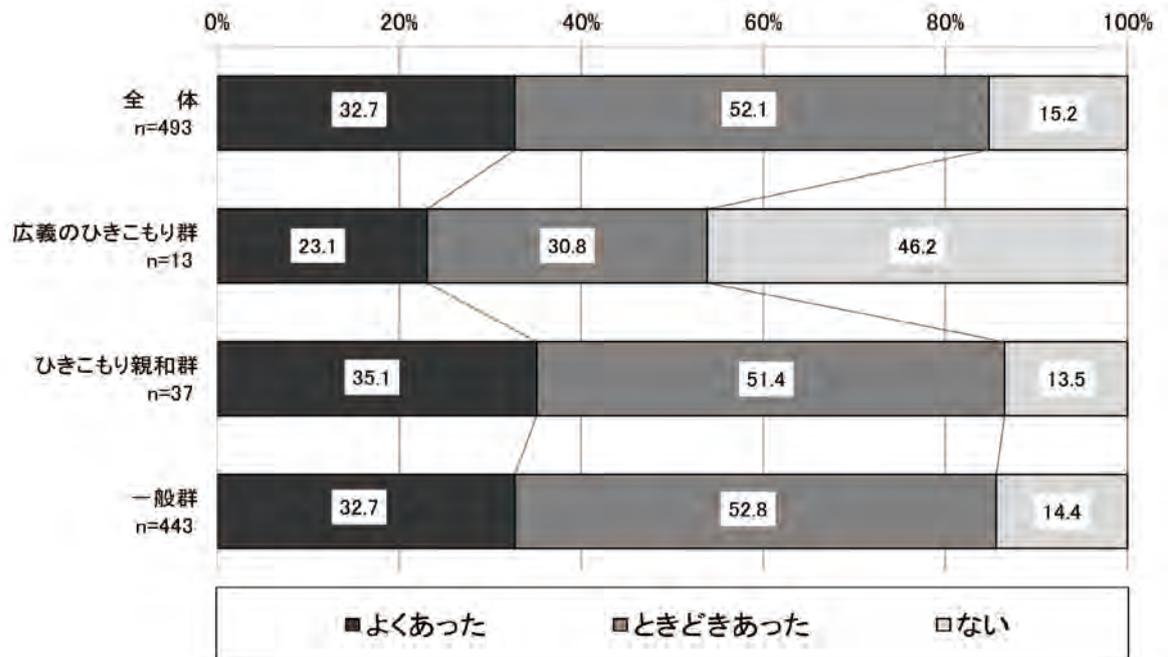


図 237

(5) のこぎりや金づちを使って何か作ったことがある

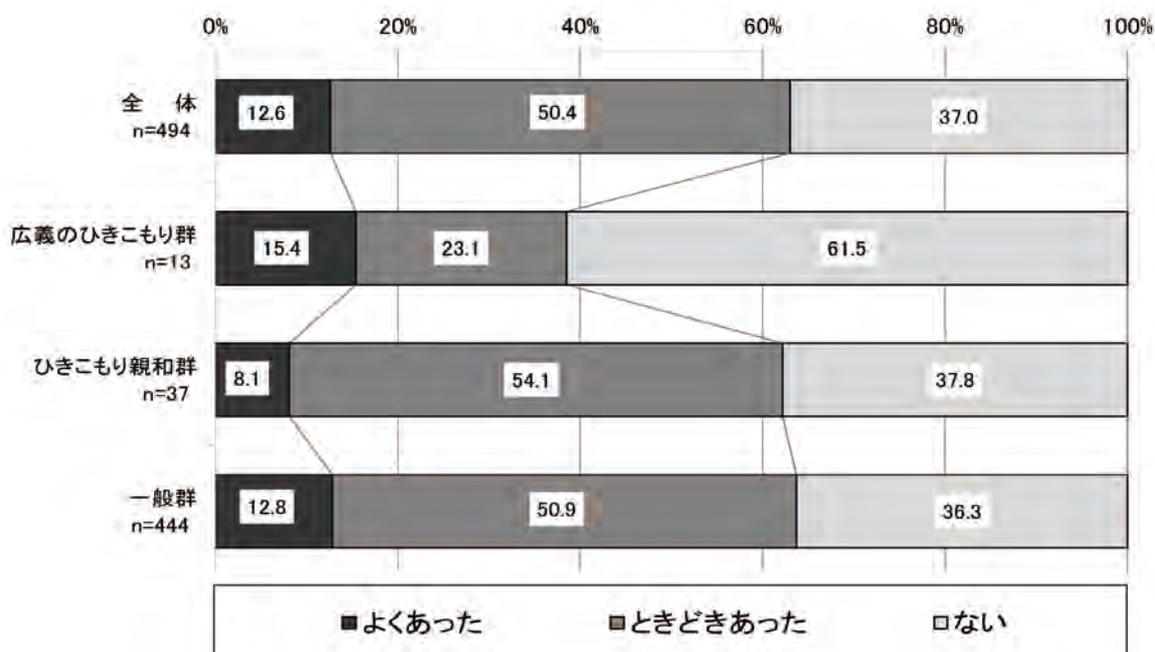
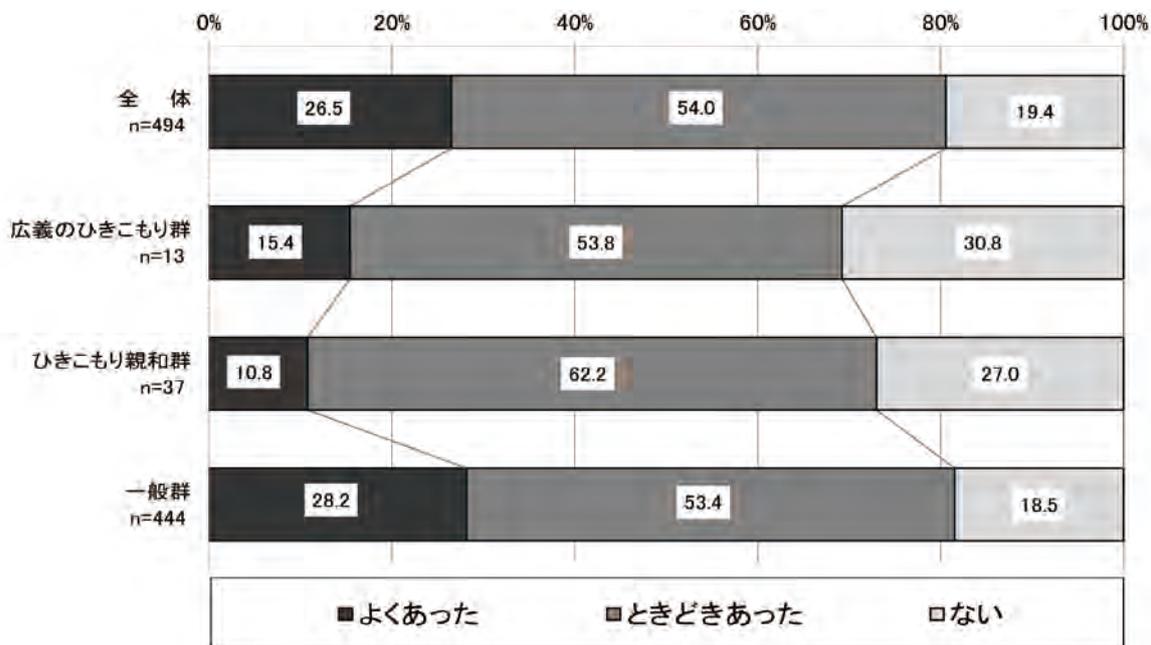


図 238

(6) 大勢の友だちと集団で遊んだことがある

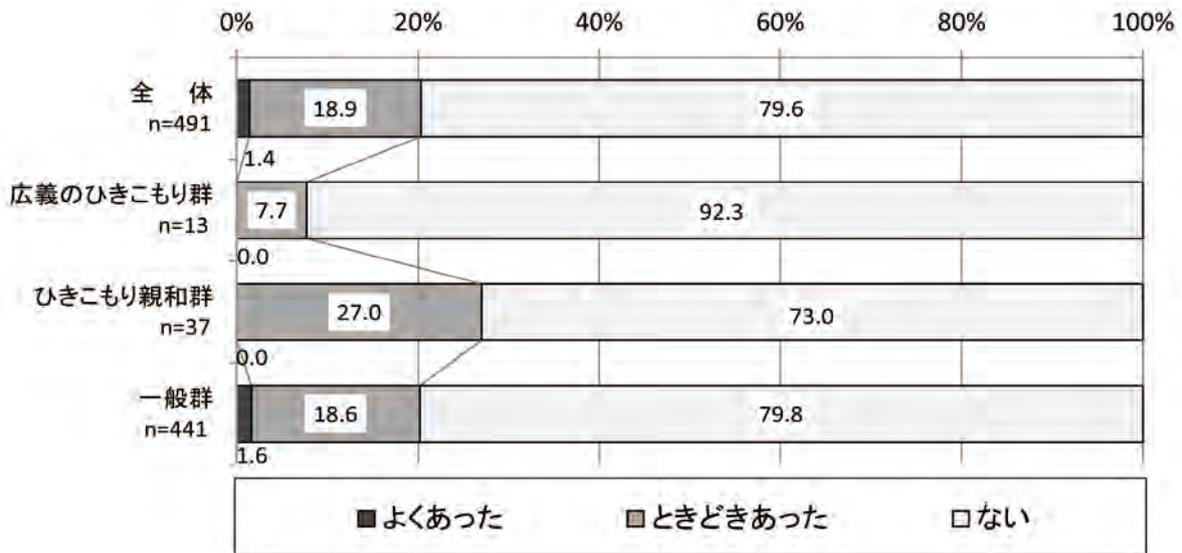


問  
あなたは、18歳（高校卒業）までに（1）から（9）までのことがらについて、したことがありますか。それぞれあてはまる番号に1つずつ○をつけてください。（○は各項目につきひとつ）

広義のひきこもり群ひきこもり親和群には、「よくあった」はなかった。

図239

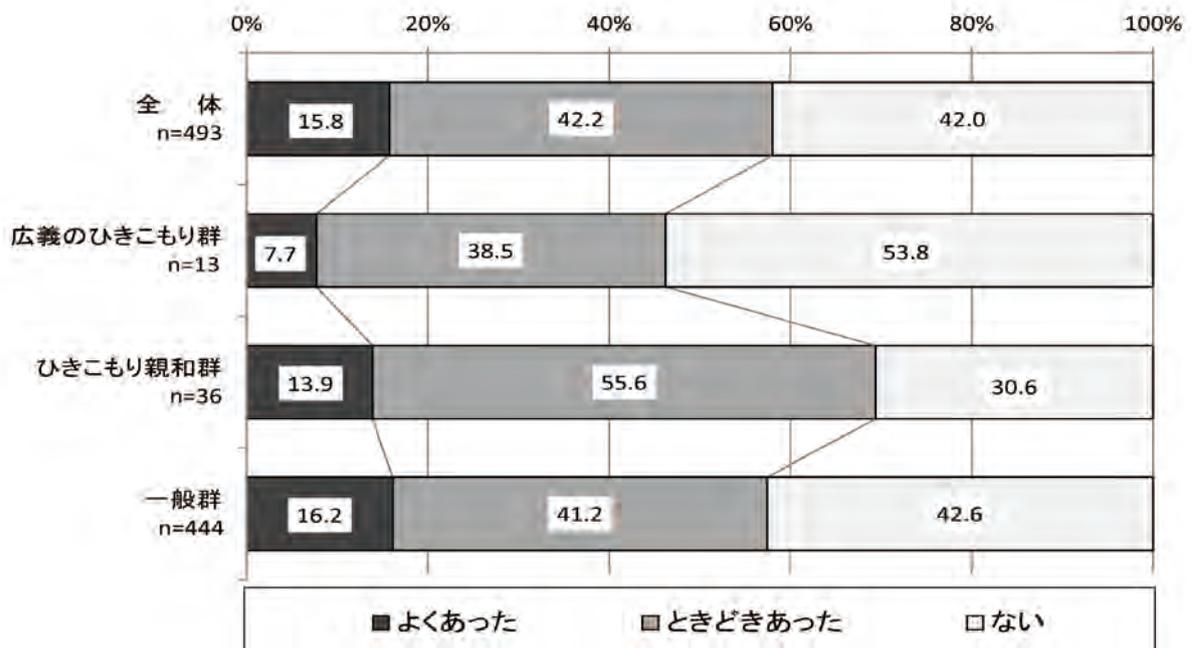
（1）家の金を、だまって持ち出したことがある



広義のひきこもり群は、「よくあった」「ときどきあった」と回答した割合が、一般群と比べて低かった。

図240

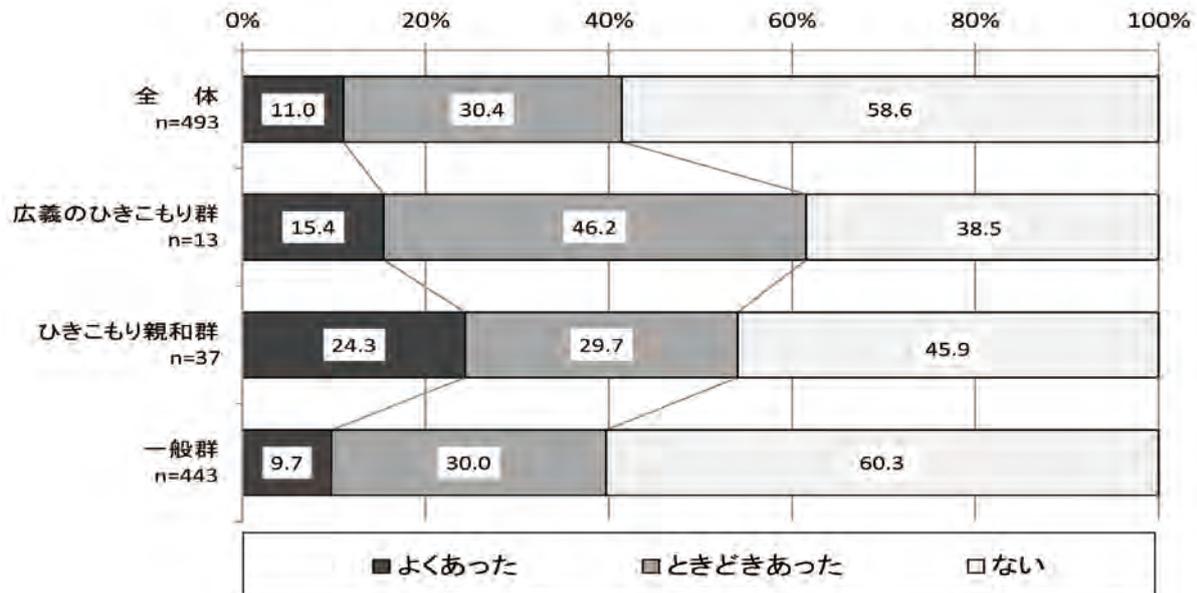
（2）家の人にひどく反抗したことがある



広義のひきこもり群、ひきこもり親和群では、一般群に比べ「よくあった」「ときどきあった」の割合が1割以上高い。

図241

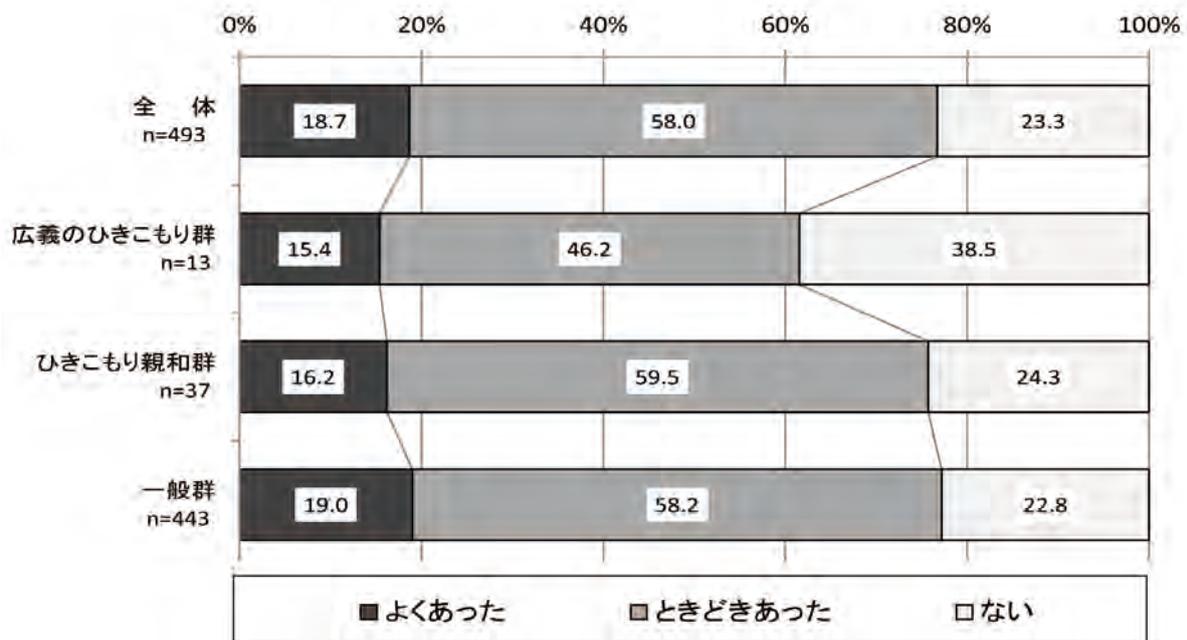
(3) 学校の授業をさぼったことがある



広義のひきこもり群では、一般群に比べて「よくあった」「ときどきあった」の割合が約1割低い。

図242

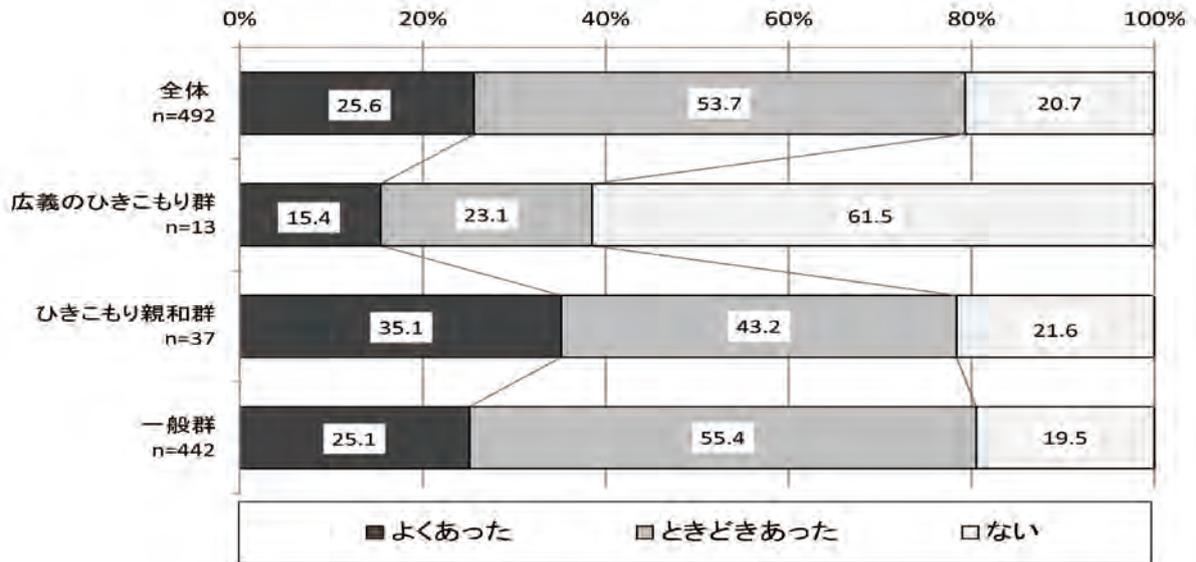
(4) 友達とゲームセンターで遊んだことがある



広義のひきこもり群では、一般群に比べて「よくあった」「ときどきあった」の割合が1/2程度であった。

図243

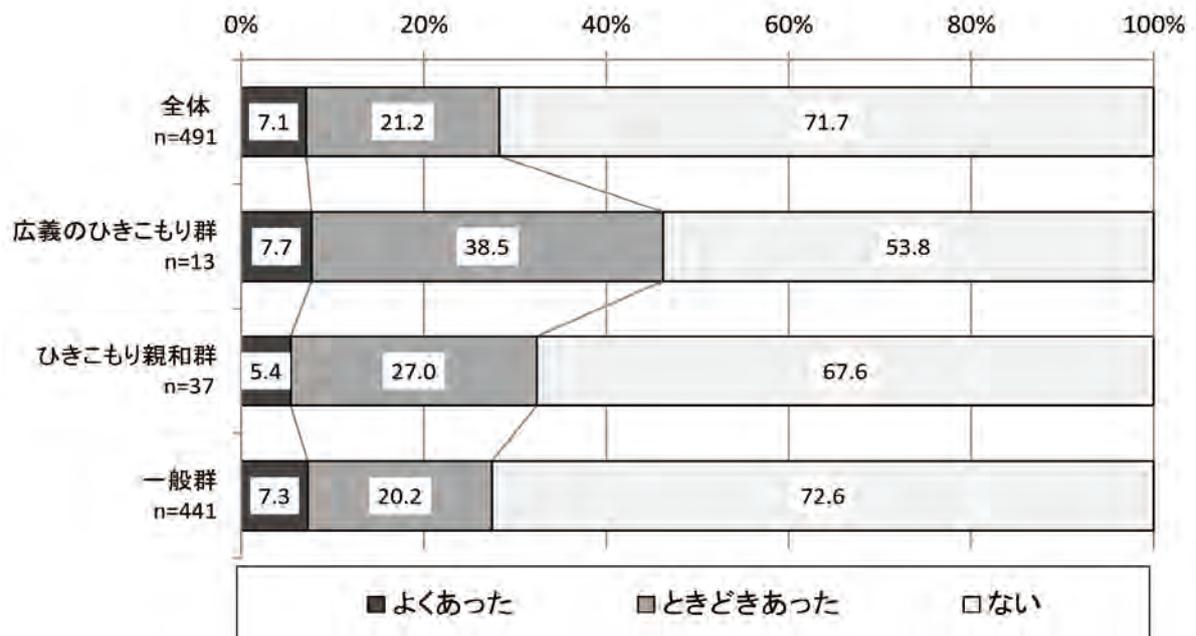
(5) 友達とカラオケボックスで遊んだことがある



広義のひきこもり群では、一般群に比べ「ときどきあった」の割合が約2割高い。

図244

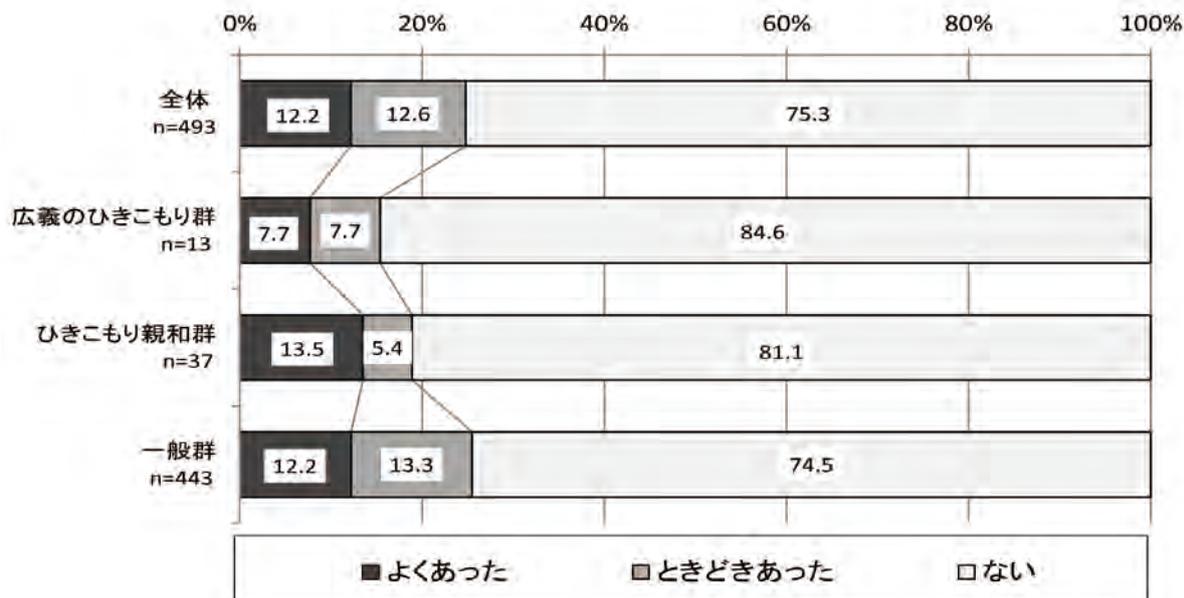
(6) インターネットのアダルトサイトを見たことがある



広義のひきこもり群、ひきこもり親和群では、一般群に比べ「よくあった」「ときどきあった」の割合が低い。

図245

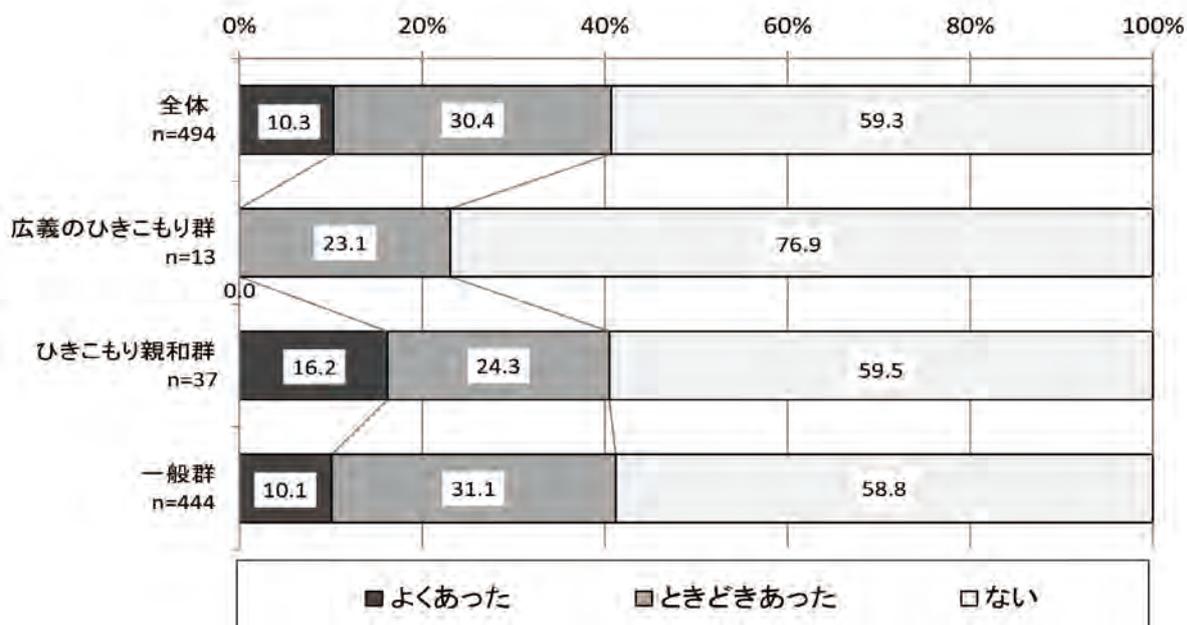
(7) タバコを吸ったことがある



広義のひきこもり群では「よくあった」と答えた方はなく、「ときどきあった」も一般群に比べて1割程度少ない。

図246

(8) 友達と酒を飲んだことがある

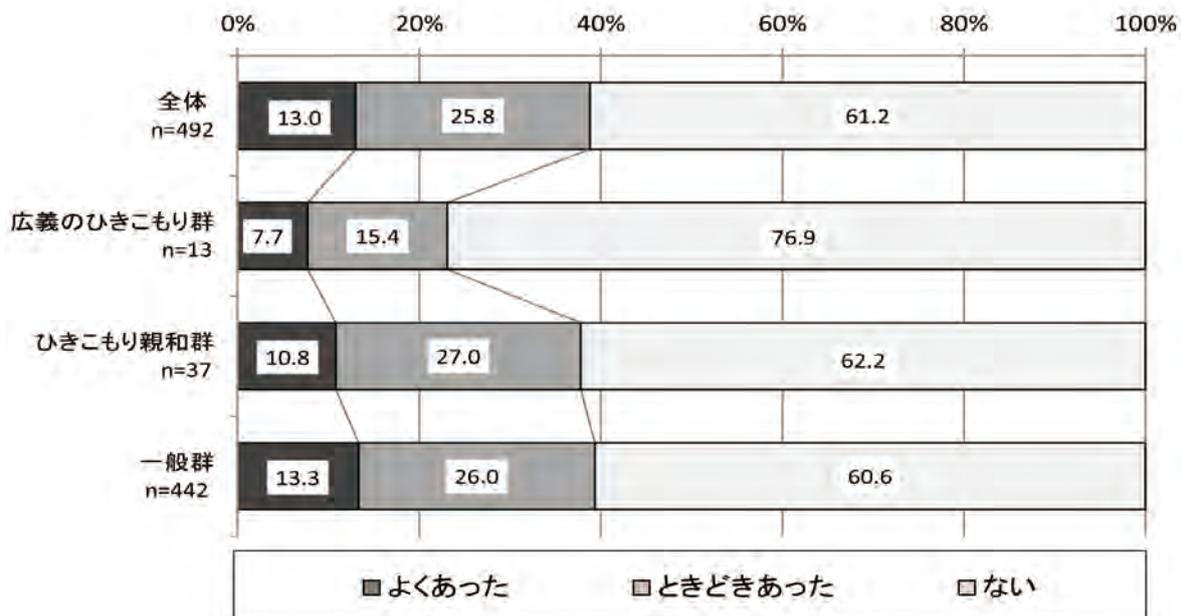


▶▶▶ 30 非行経験

広義のひきこもり群は、一般群に比べ「よくあった」「ときどきあった」の割合が2割近く低い。

図247

(9) 友達と深夜まで遊び回ったことがある



▶▶▶ 31 学校生活の満足度 (卒業した、または現在の学校について)

問  
あなた自身にあてはまる番号に1つずつ○をつけてください。(○は各項目につきひとつ)

広義のひきこもり群では、一般群に比べて「はい」「どちらかといえばはい」の割合が1/2以下であった。

図248

卒業した、または現在の学校生活に満足している

